越前町学校施設等長寿命化計画

令和３年３月

越前町　教育委員会

越前町学校施設等長寿命化計画 目次

第１章　学校施設の長寿命化計画の背景・目的等 ･･････････････････････ 1
１．計画の背景 ･･･ 1
２．計画の目的 ･･･ 1
３．計画の位置づけ ･･･ 2
４．計画期間 ･･･ 2
５．対象施設 ･･･ 2

第２章　学校施設の実態 ･･･ 3
１．学校施設の運営状況・活用状況等の実態 ･･････････････････････････ 3
２．学校施設の老朽化状況の実態 ･････････････････････････････････････ 14

第３章　学校施設の目指すべき姿 ･････････････････････････････････････ 21

第４章　学校施設整備の基本的な方針等 ･･････････････････････････････ 23
１．学校施設の規模・配置計画等の方針 ･･････････････････････････････ 23
２．改修等の基本的な方針 ･･･ 24

第５章　基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等 ･･････････････････ 28
１．改修等の整備水準 ･･･ 28
２．維持管理の項目・手法等 ･･･ 31

第６章　長寿命化の実施計画 ･･･ 32
１．改修等の優先順位付けと実施計画 ･････････････････････････････････ 32
２．長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果 ･･････････････････････ 37

第７章　長寿命化計画の継続的運用方針 ･･････････････････････････････ 38
１．情報基盤の整備と活用 ･･･ 38
２．推進体制等の整備 ･･･ 38
３．フォローアップ ･･･ 38

資料編 ･･･ 39
参考１　ステップ１　現場調査・点検における健全度判定基準 ･･････････ 40
参考２　学校施設管理区分 ･･ 44

第１章　学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

１．計画の背景

人々の生活や社会経済活動は、道路・橋梁・鉄道等の産業基盤や上下水道・公園・学校等の生活基盤、また、都市や農山村を形成する様々なインフラによって支えられています。

これらのインフラは、全国的に高度経済成長期以降に整備されたものが多く、今後、一斉に更新の時期を迎えようとしています。

このような中、国は、平成 25 年（2013 年）11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、中長期的な維持管理・更新等に係るコストの縮減や予算の平準化を図る方向性を打ち出し、地方公共団体においてもこの計画に基づき、インフラ長寿命化計画（公共施設等総合管理計画）、個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）を策定することとされました。

上記を背景に、越前町では、平成 28 年（2016 年）7 月に、今後 10 年間の公共施設等の管理に対して基本的な方針を定めた「越前町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

本計画は、越前町公共施設等総合管理計画の方針を踏まえつつ、公共施設の中でも多くの割合を占める学校施設（小学校、中学校、陽光館、学校給食センター）について、施設全体の状況を把握し、中長期的に整備を行うことにより、管理運営の適正化と財政負担の軽減・平準化を図るものです。

２．計画の目的

本町が保有する公共施設等（建築物）の延床面積は約 19 万 4 千㎡となっており、このうち、学校施設は全体の約 35％を占めています。

また、学校施設は、昭和 40 年代後半から 50 年代に建設されたものが多く、築 40 年以上が約 23％、築 30 年以上が 35％と老朽化が進みつつあり、学校施設の維持管理及び更新が今後の財政に与える影響は非常に大きいと考えられます。

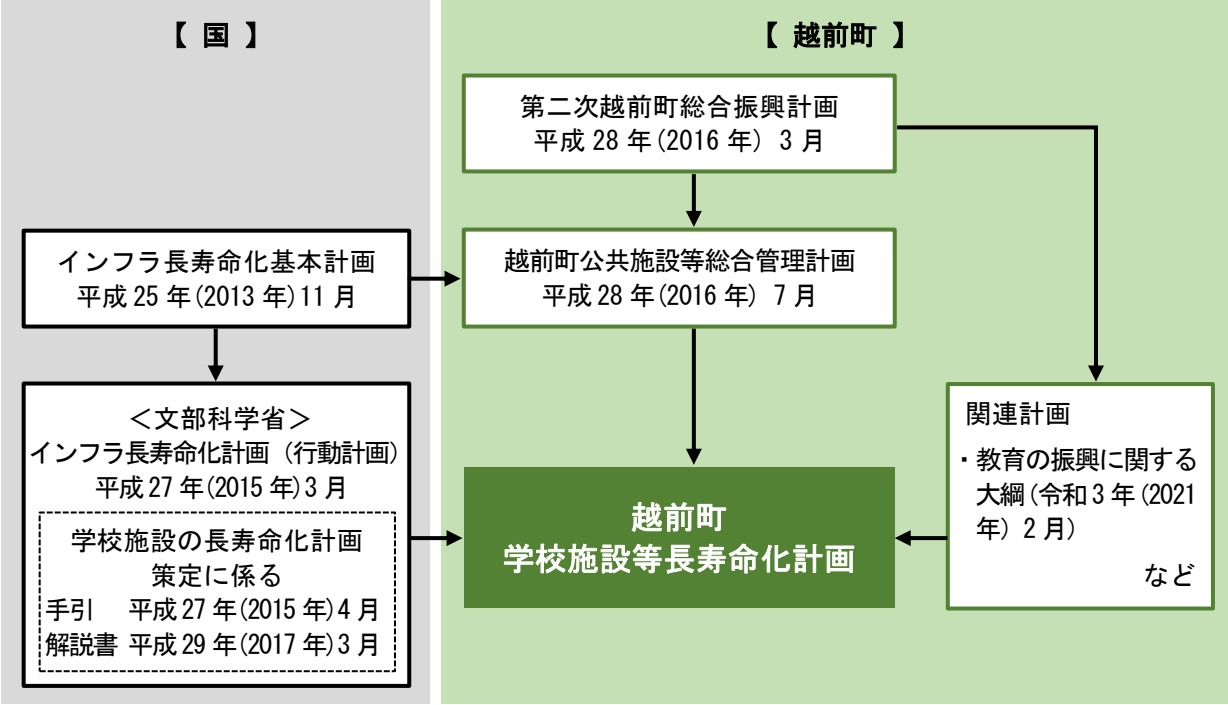
一方、学校施設に対するニーズは多様化しており、多様な学習内容や形態への対応、学習空間の快適化、防災対策、環境負荷の低減など、さまざまな配慮が求められています。

そこで、厳しい財政状況の中、学校施設に求められる機能・性能を確実に確保するため、従来の事後保全型から予防保全型への転換による学校施設の長寿命化に取り組み、中長期的な維持管理等に係るコストの縮減及び予算の平準化を図ることを目的に、越前町学校施設長寿命化計画を策定するものとします。

３．計画の位置づけ

国が定める計画や学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き・解説書等に基づき、本町が定める上位計画である「第二次越前町総合振興計画」（平成 28 年（2016 年）3 月）や越前町公共施設等総合管理計画（平成 28 年（2016 年）7 月）、その他関連計画等との整合を図りつつ計画を策定します。

図　越前町学校施設等長寿命化計画の位置づけ



４．計画期間

本計画の期間は、令和 3 年度（2021 年度）から令和 43 年度（2061 年度）までの 40 年間とし、概ね 5 年毎に見直しを行うものとします。なお、児童生徒数や著しい社会経済情勢の変化、国の補助制度の動向等により早急な対応が必要な場合は、随時見直すものとします。

５．対象施設

小学校　8 校	朝日小学校、常磐小学校、糸生小学校、宮崎小学校、四ヶ浦小学校、城崎小学校、織田小学校、萩野小学校
中学校　4 校	朝日中学校（陽光館を含む）、宮崎中学校、越前中学校、織田中学校
学校給食センター　1 箇所	越前町学校給食センター

第２章　学校施設の実態

１．学校施設の運営状況・活用状況等の実態

（１）学校施設を取り巻く状況

①　人口推移と今後の見通し

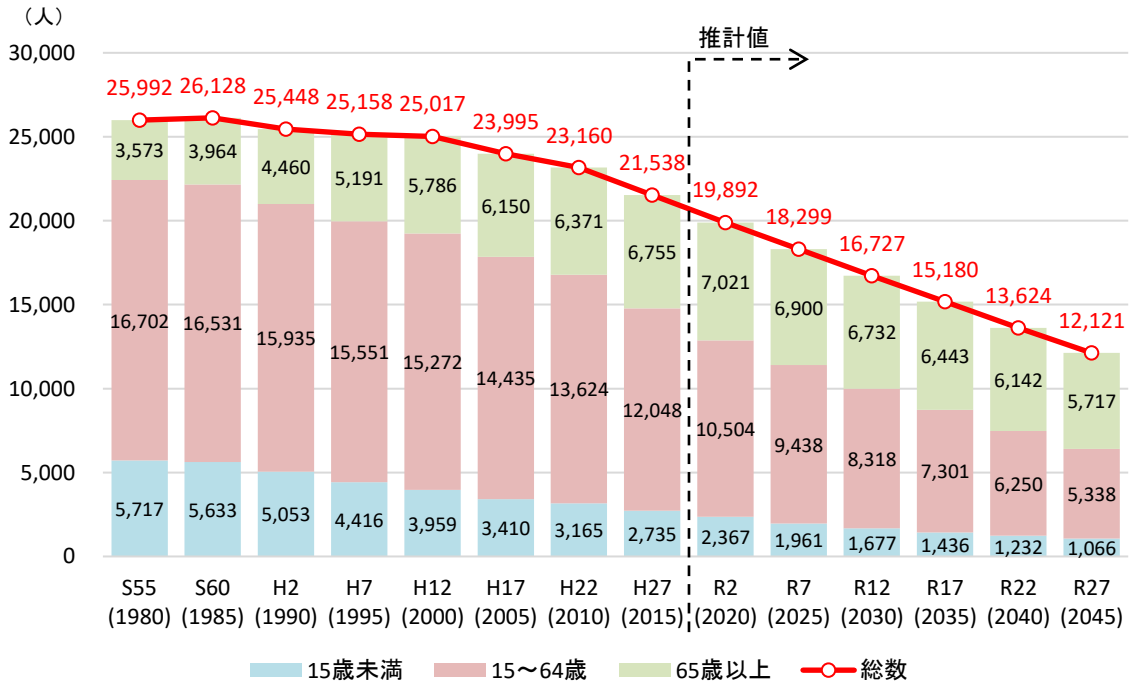
本町の人口は昭和 60 年（1985 年）にピークを迎え、その後、減少傾向に転じており、近年、その傾向がより強くなっている状況です。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和 27 年（2045 年）の人口は 12,121 人で、平成 27 年（2015 年）の 21,538 人に対して、約 56%程度まで減少する見込みです。

また、年齢階層別では、老年人口（65 歳以上）が約 85%、生産年齢人口（15～64 歳）が約 44%、学校施設に関連する年少人口（0～14 歳）に関しては、約 39%まで減少する見通しとなっています。

図　将来人口推計

資料：S55（1980）～H27（2015）（国勢調査）　R2（2020）以降（国立社会保障・人口問題研究所）



②　財政状況

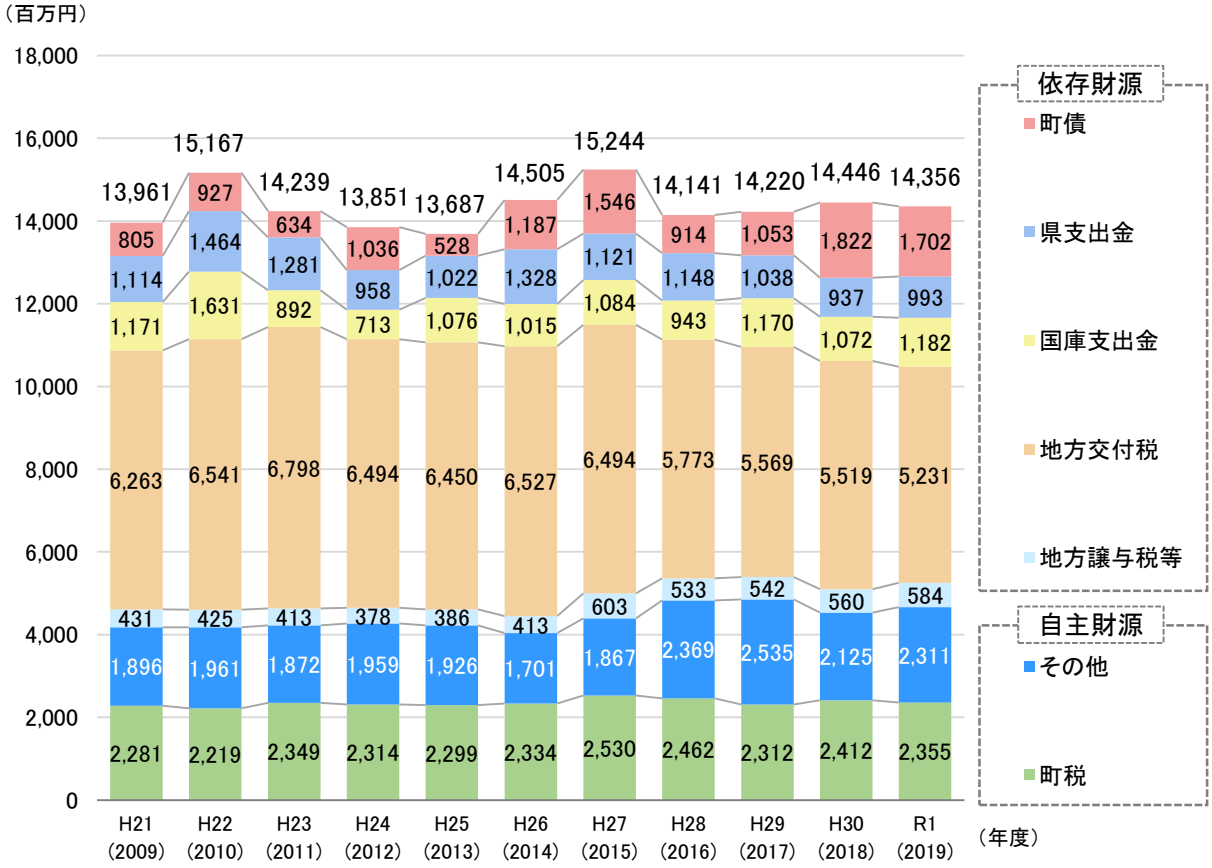
＜歳入の推移＞

令和元年度（2019 年度）の歳入総額は、約 144 億円となっており、直近 10 年間では、概ね 140～150 億円程度で推移しています。

歳入全体としては、依存財源の占める割合が高く、特に地方交付税に大きく依存しています。これまでは、市町村合併（平成 17 年度（2005 年度））による普通交付税の合併算定替により財源不足を補っていましたが、平成 27 年度（2015 年度）からその増額分が段階的に縮減され、令和 2 年度（2020 年度）には、合併算定替が終了する予定です。

今後は、人口減少等による町税の減少など、本町の歳入は、現在よりも減少することが予想されます。

図　歳入の推移　　資料：地方財政状況調査



＜歳出の推移＞

令和元年度（2019 年度）の歳出総額は、約 136 億円となっており、直近 10 年間では、概ね 130～140 億円で推移しています。近年は、高齢化の進展やこれに伴う社会保障制度の充実により、扶助費が増加傾向にあります。

また、社会資本の整備に要する経費である投資的経費の内訳をみると、普通建設事業費（学校施設や道路、公園等の新増設等に要する経費）が 9 割以上を占めています。これら公共施設等の維持補修には、今後、多くの費用が必要になると想定されることから、施設の維持管理・更新等を適正に推進していくことが必要です。

図　歳出の推移　　資料：地方財政状況調査

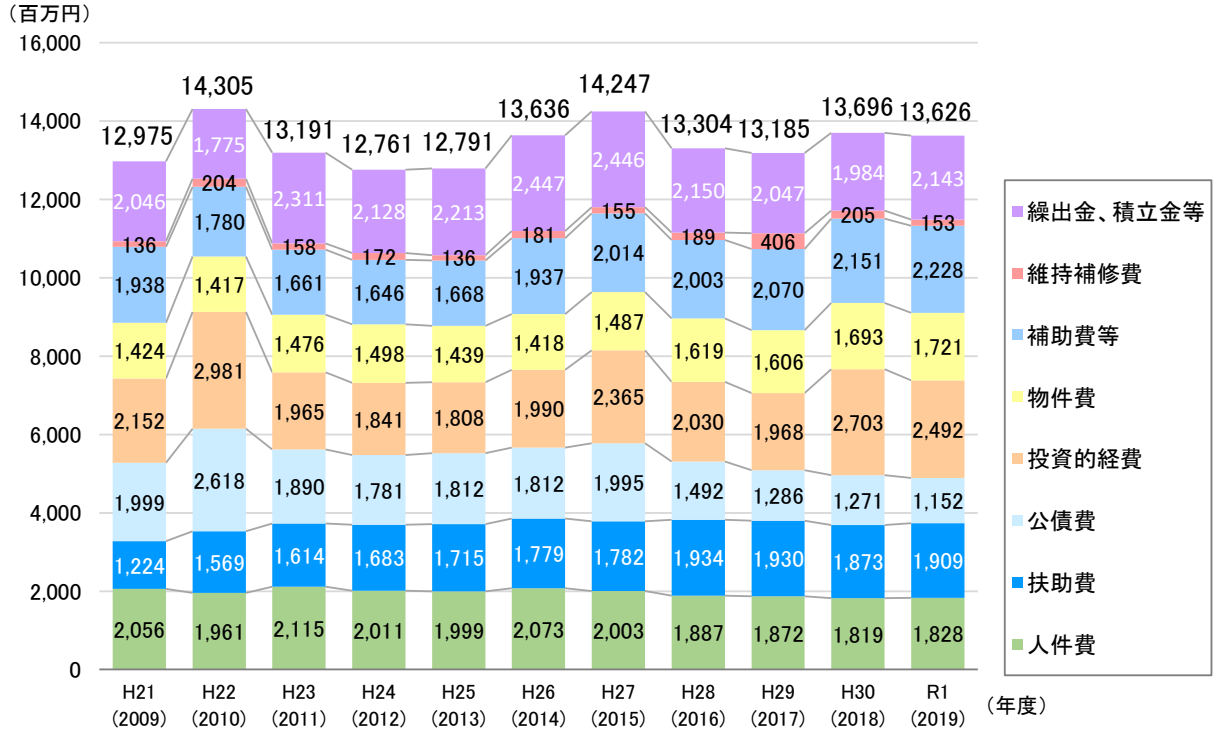
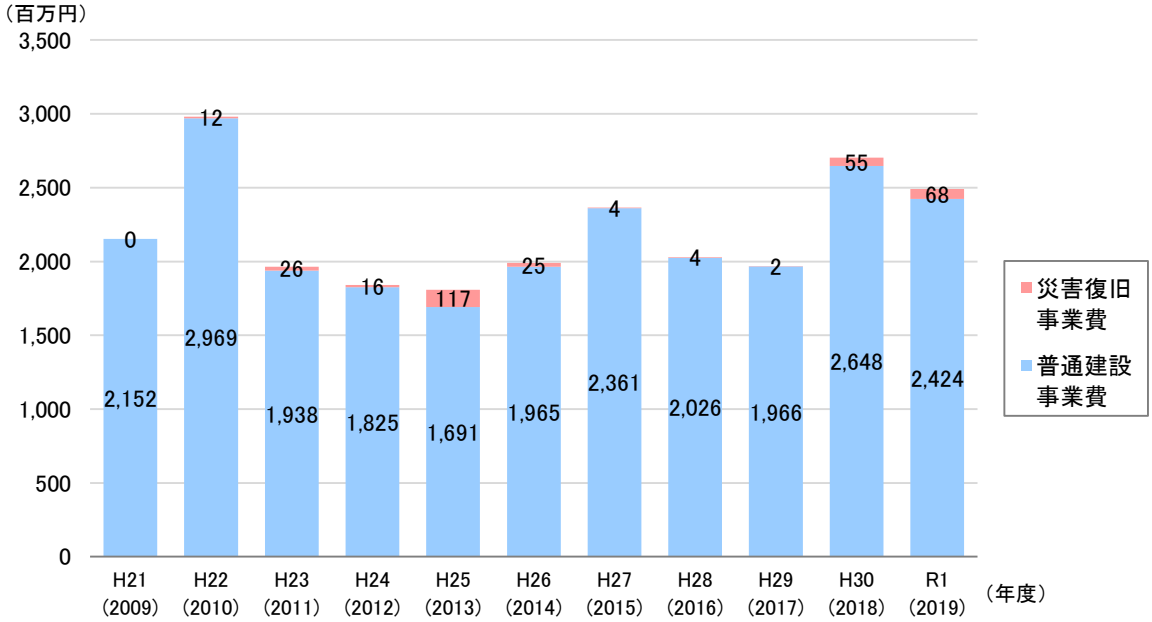


図　投資的経費（内訳）の推移　　資料：地方財政状況調査

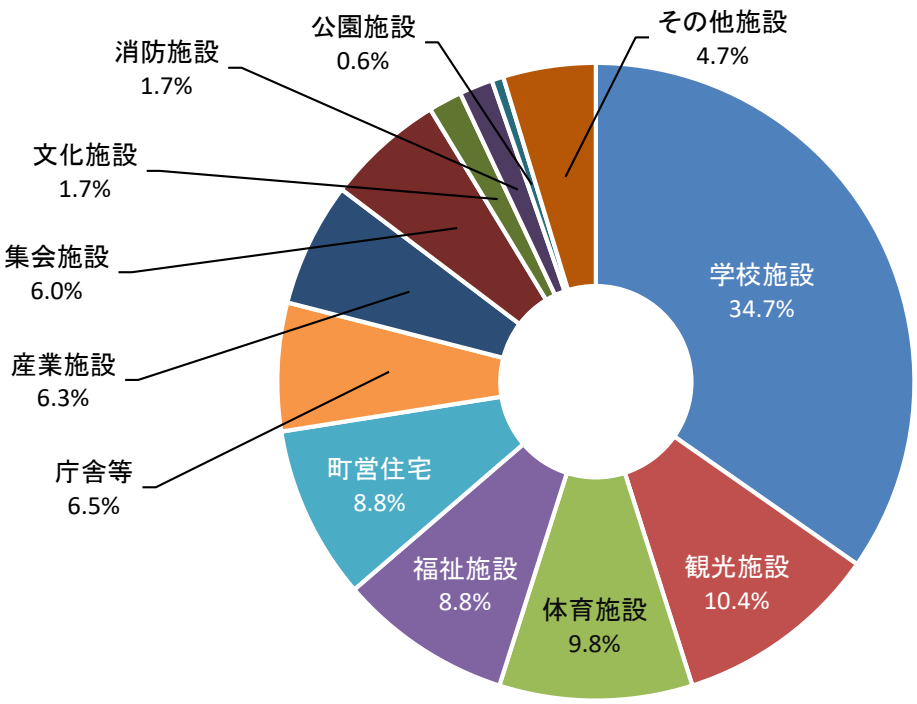


③　公共施設の保有量

越前町公共施設等総合管理計画が対象とする公共施設（建築物に限る）は、227 施設、総延床面積 194,191 ㎡となっています。

このうち学校施設（小中学校・学校給食センター）が占める割合（面積比）は、約 34.7%と最も高く、今後、維持補修等に係る影響が大きくなると想定されます。

図　類型別公共施設の保有割合　　資料：越前町公共施設等総合管理計画



④　対象施設一覧

本町には、小学校が 8 校、中学校が 4 校あり、施設全体の延床面積は小学校が 37,203 ㎡、中学校（陽光館を含む）が 31,263 ㎡で、小中学校合わせた延床面積は、68,466 ㎡になります。

小学校 1 校あたりの延床面積は、常磐小学校 2,484 ㎡～朝日小学校 7,194 ㎡となっています。また、中学校 1 校あたりの延床面積は、織田中学校 5,320 ㎡～朝日中学校 10,150 ㎡となっています。

この他、越前町学校給食センターが 1 箇所あり、延床面積は 2,866 ㎡となっています。

表　学校施設一覧（令和 2 年（2020 年）5 月 1 日現在）

資料：平成 30 年度越前町学校施設台帳（越前町学校給食センターの面積は施設平面図で確認）

名称		住所	延床面積（㎡）	建築年度 和暦 西暦	児童生徒数（人）		学級数（学級）	
					通常	特別支援	通常	特別支援
小学校	朝日小学校	丹生郡朝日町天王5-7	7,194	S57 (1982)	400	13	13	3
	常磐小学校	丹生郡越前町青野20-9	2,484	S58 (1983)	16	－	3	－
	糸生小学校	丹生郡越前町上糸生81-19	2,914	S61 (1986)	64	4	6	1
	宮崎小学校	丹生郡越前町江波122-1	5,149	H15 (2003)	210	3	9	2
	四ヶ浦小学校	丹生郡越前町小樟42-175	5,827	S58 (1983)	73	1	6	1
	城崎小学校	丹生郡越前町茂原4-8-1	5,248	H6 (1994)	75	1	6	1
	織田小学校	丹生郡越前町大王丸20-17	5,558	H6 (1994)	129	5	6	2
	萩野小学校	丹生郡越前町細野73-23	2,829	S55 (1980)	61	1	6	1
小学校　計			37,203		1,028	28	55	11
中学校	朝日中学校	丹生郡越前町気比庄51-5-1	10,150	H21 (2009)	269	6	10	2
	陽光館	丹生郡越前町気比庄57-32	2,750	H元 (1989)	－	－	－	－
	宮崎中学校	丹生郡越前町樫津20-20	5,565	S55 (1980)	85	2	4	2
	越前中学校	丹生郡越前町大樟14-19	7,478	S48 (1973)	75	2	3	1
	織田中学校	丹生郡越前町下河原37-2-10	5,320	S57 (1982)	111	3	6	2
中学校　計			31,263		540	13	23	7
給食C	越前町学校給食センター	丹生郡越前町江波63-73	2,866	H30 (2018)	－	－	－	－
給食C　計			2,866		－	－	－	－
学校施設　合計			71,332		1,568	41	78	18

（２）児童生徒数及び学級数の変化

①　児童生徒数及び学校数の推移

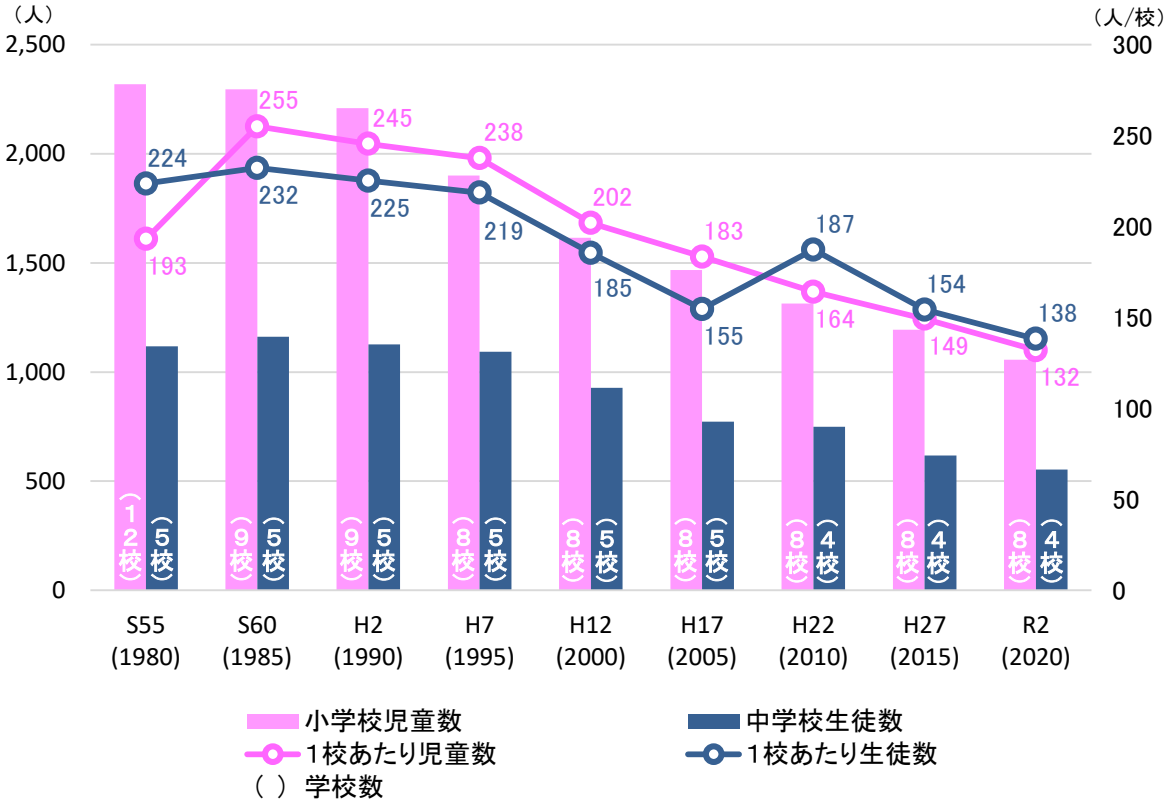
小学校の児童数は、令和 2 年（2020 年）では 1,056 人（8 校）となっています。児童数は、昭和 55 年をピークに、長年、減少傾向にあり、現在ではピーク時の約 46%まで減少しています。この間、小学校数も 12 校（分校 2 校含む）から 8 校に減少しています。

中学校の生徒数は、令和 2 年（2020 年）では 553 人（4 校）となっています。生徒数は、昭和 60 年をピークに、長年、減少傾向にあり、現在ではピーク時の約 48%まで減少しています。この間、中学校数も 5 校から 4 校に減少しています。

表　児童生徒数等の推移　　資料：越前町資料

和暦 西暦	単位	S55 (1980)	S60 (1985)	H2 (1990)	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)
小学校校数	校	12	9	9	8	8	8	8	8	8
小学校児童数	人	2,318	2,295	2,209	1,900	1,615	1,467	1,313	1,194	1,056
1校あたり児童数	人/校	193	255	245	238	202	183	164	149	132
中学校学校数	校	5	5	5	5	5	5	4	4	4
中学校生徒数	人	1,118	1,161	1,126	1,093	927	773	749	617	553
1校あたり生徒数	人/校	224	232	225	219	185	155	187	154	138

図　児童生徒数等の推移　　資料：越前町資料



②　余裕教室の状況

小学校の余裕教室は 15 教室存在し、少人数教室や多目的ルーム等として利用されています。また、中学校の余裕教室は 12 教室存在し、学習室や自習室等として利用されています。

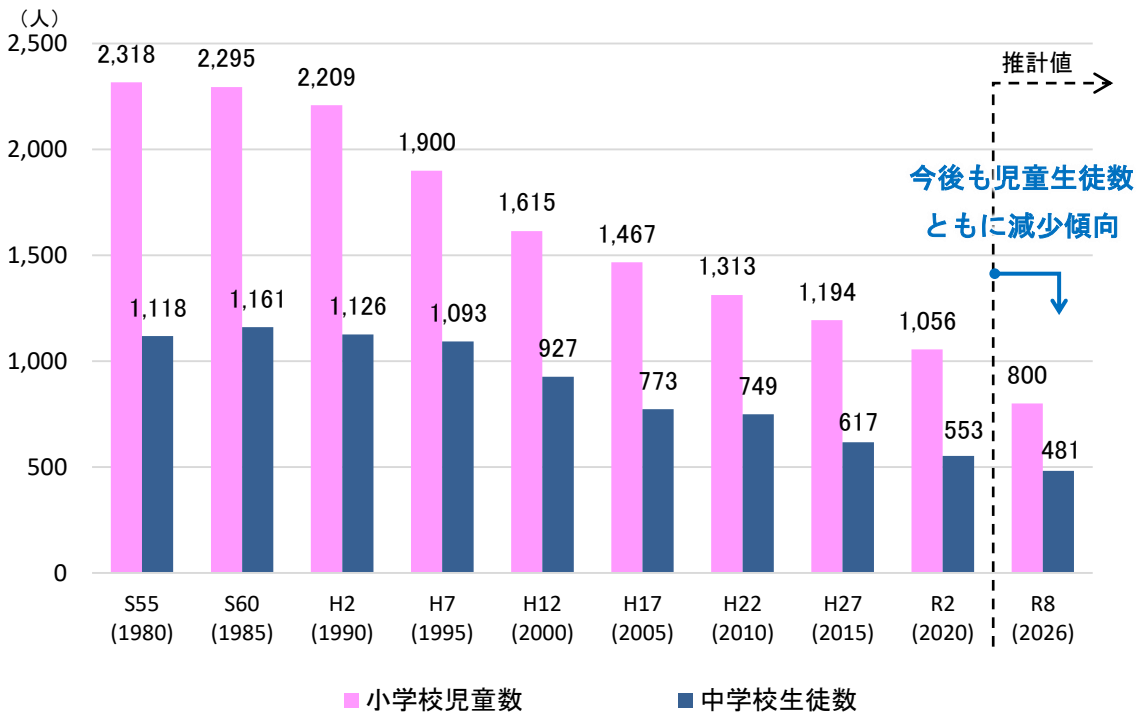
表　余裕教室の状況（平成 29 年（2017 年）5 月 1 日現在）　　資料：越前町資料

学校名	学級数		余裕教室	余裕教室使用状況
	通常	特別支援		
朝日小学校	13	3	5	やまびこ教室、あすなろ教室、5年ルーム、教材室、4年ルーム
常磐小学校	3	0	1	低学年ルーム
糸生小学校	6	1	0	–
宮崎小学校	9	2	1	生活科室
四ヶ浦小学校	6	1	0	–
城崎小学校	6	1	2	わくわくルーム、多目的ルーム
織田小学校	6	2	6	小人数教室
萩野小学校	6	1	0	–
合計	55	11	15	
朝日中学校	10	2	2	自習室(2室)
宮崎中学校	4	2	1	学習室
越前中学校	3	1	8	1年学習室、資料室、書写室、書写準備室、2年学習室、放送室、3年学習室A・B
織田中学校	6	2	1	CR(特別支援)
合計	23	7	12	

③　児童生徒数の将来推計

小学校の児童数は、今後も減少傾向が続き、令和 8 年（2026 年）には、令和 2 年（2020 年）の約 76%まで減少すると推計されています。また、中学校の生徒数も令和 8 年（2026 年）には、令和 2 年（2020 年）の約 87%まで減少すると推計されています。

図　児童生徒数の将来推計　　資料：越前町資料

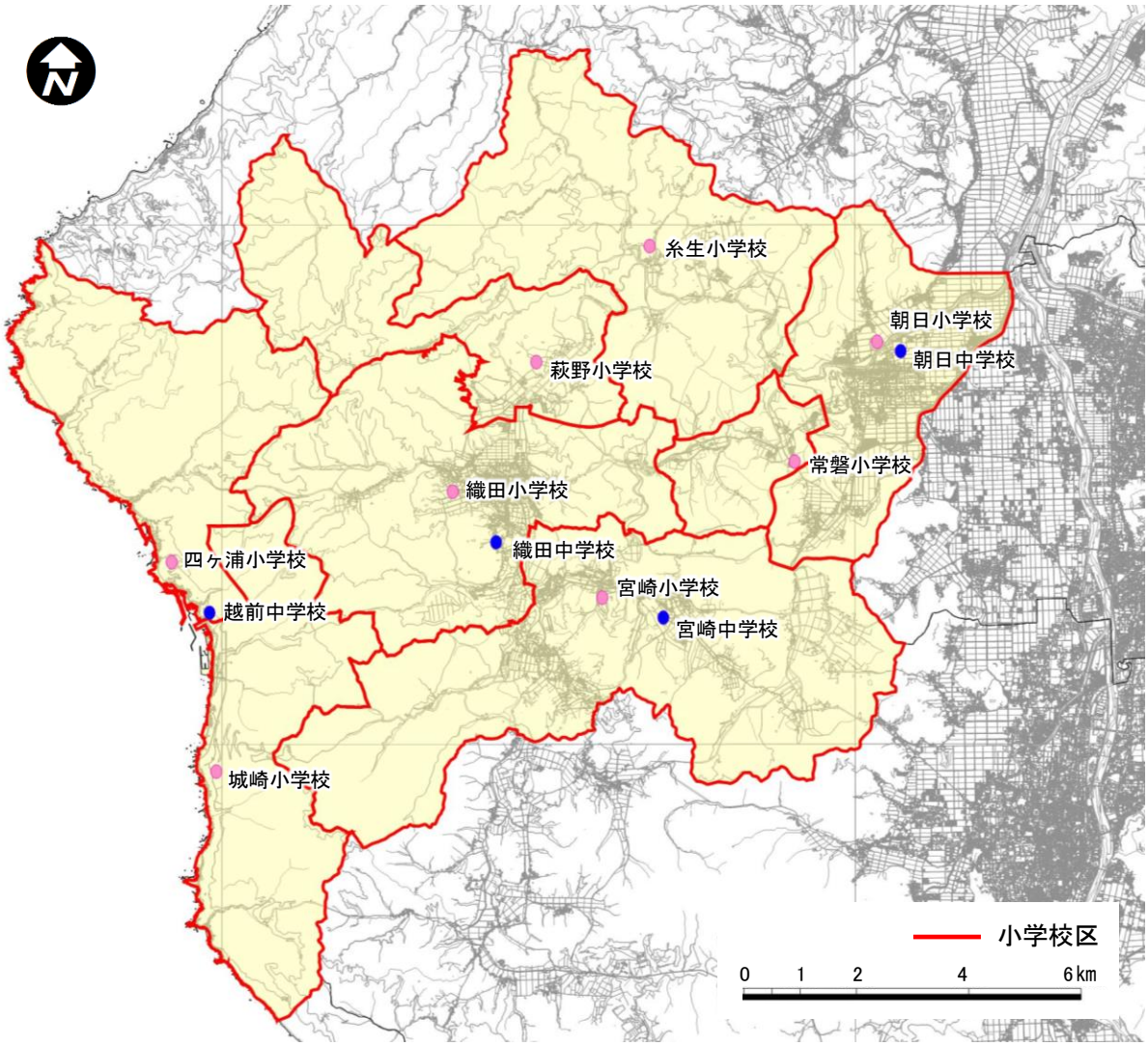


（３）学校施設の配置状況

①　現在の配置状況

計画対象の小学校（8 校）、中学校（4 校）の配置状況は、下図のとおりで、「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令　第 4 条」が規定する適正な距離（小学校 4 km、中学校 6 km）で概ね配置されています。

図　学校施設の配置状況



②　統廃合の経緯

本町では、児童生徒数の減少を踏まえ、望ましい教育環境の確保や教育諸条件の改善等の観点から、小中学校の統廃合を実施しています。

昭和 55 年以降、小学校は昭和 55 年（1980 年）に糸生小学校（第一分校）を廃校、昭和 56 年（1981 年）に上岬小学校、同左右分校を廃校し、四ヶ浦小学校へ統合、平成 6 年（1994 年）に城崎南小学校及び城崎北小学校を廃校し、城崎小学校へ新設統合、平成 15 年（2003 年）に萩野小学校（笈松分校）を廃校しています。

また、中学校は、平成 21 年（2009 年）に、糸生中学校を廃校し、朝日中学校に統合しています。

（４）施設関連経費の推移

平成 27 年度（2015 年度）から令和元年度（2019 年度）の 5 年間における学校施設の施設関連経費は、約 2.2 億円から 2.6 億円で、5 年間の平均は約 1.8 億円/年となっています。

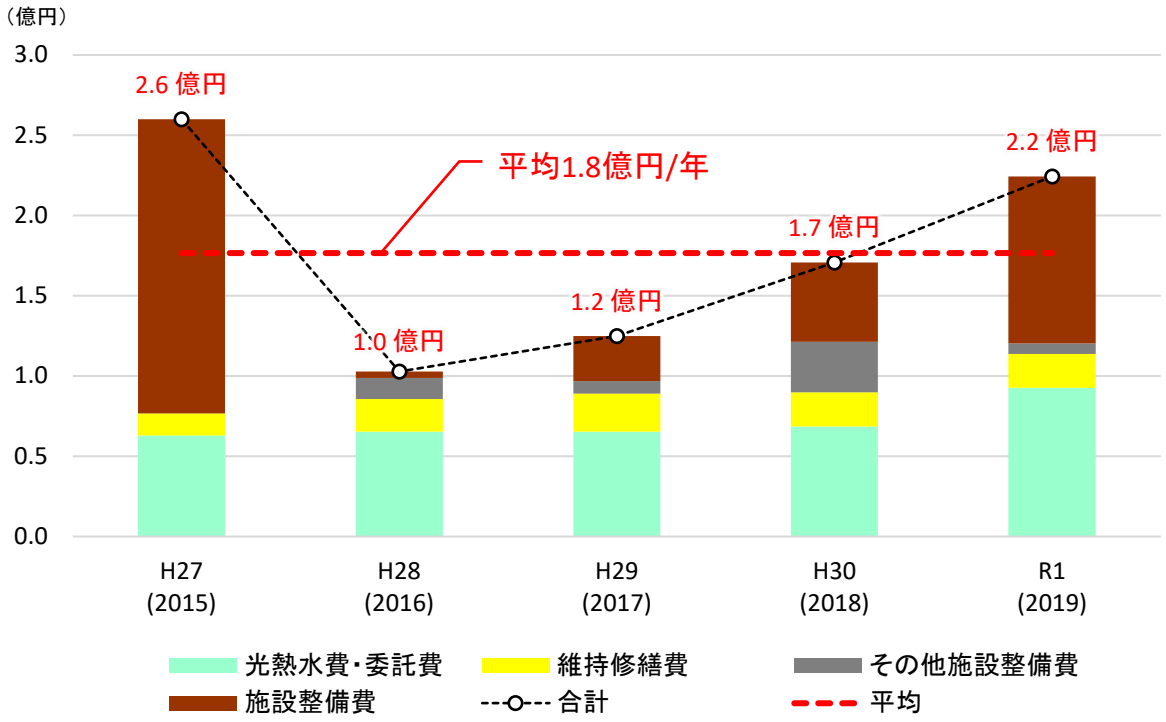
施設関連経費の推移としては、平成 27 年度（2015 年度）から平成 28 年度（2016 年度）にかけて減少しましたが、それ以降は現在に至るまで増加傾向にあります。主な要因としては、施設整備費の増加であり、これは平成 29 年度（2017 年度）に朝日中学校と越前中学校の空調機器の設置と更新、織田中学校の外壁補修、並びに朝日小学校の汚水管布設工を、平成 30 年度（2018 年度）に越前中学校の屋上防水工を、さらに令和元年度（2019 年度）に宮崎小学校を除く町内全ての小中学校において空調機器の設置を行ったことによるものです。

表　学校施設の施設関連経費の推移　　資料：越前町資料

（単位：円）

和暦 西暦	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	合計	平均
施設整備費	183,254,400	4,046,760	28,100,520	49,343,040	104,001,080	368,745,800	73,749,160
その他施設整備費		13,123,080	7,790,040	31,601,880	6,409,700	58,924,700	11,784,940
維持修繕費	13,824,169	20,292,628	23,688,883	21,199,786	21,103,254	100,108,720	20,021,744
光熱水費・委託費	62,802,004	65,258,800	65,203,470	68,532,732	92,647,625	354,444,631	70,888,926
合計	259,880,573	102,721,268	124,782,913	170,677,438	224,161,659	882,223,851	176,444,770
					5年間の平均	176,444,770	35,288,954

図　学校施設の施設関連経費の推移　　資料：越前町資料



（５）学校施設の保有量

学校施設の保有量は、対象施設 42 棟、延床面積約 7.1 万㎡となっています。

学校施設の整備時期のピークは、昭和 55 年度（1980 年度）から昭和 58 年度（1983 年度）頃となっており、この時期に約 2.7 万㎡（全体の 38%）が整備されています。

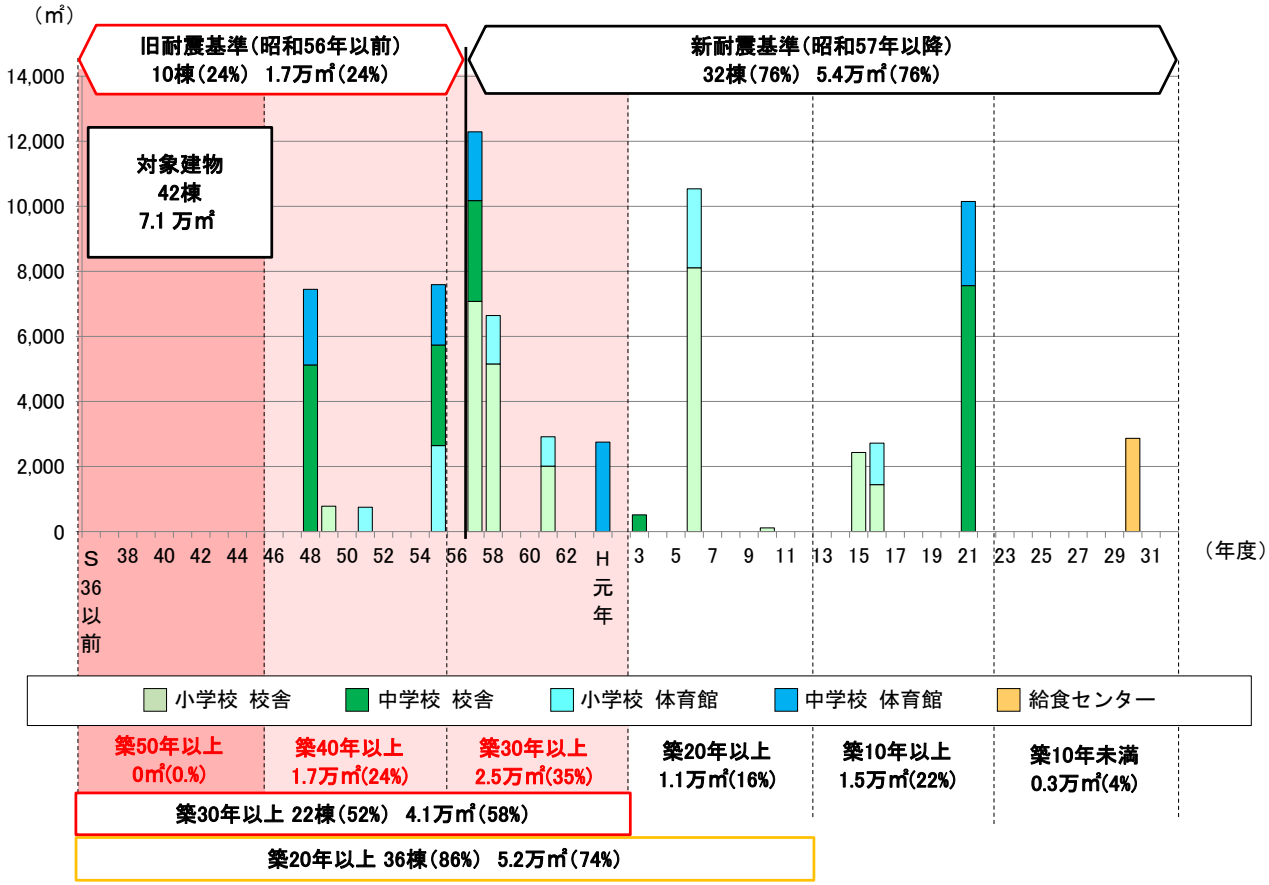
このため、築 30 年以上の建物が 22 棟（全体の 52%）、延床面積約 4.1 万㎡（全体の 58%）と老朽化が進んでいる状況で、10 年後には、36 棟（全体の 86%）、延床面積約 5.2 万㎡（全体の 74%）にまで達する見込みです。

また、昭和 56 年（1981 年）以前に整備された旧耐震基準※の建物は、10 棟（全体の 24%）、延床面積約 1.7 万㎡（全体の 24%）となっています。

一方、鉄筋コンクリート造の一般的な耐用年数とされる築 50～60 年以上の建築物はなく、多くの建物について、長寿命化に係る対応を検討していくことが必要です。

※建築基準法に基づく建築物の設計において適用される地震に耐えることのできる構造の基準で、昭和 56 年（1981 年）5 月 31 日までの建築確認において適用されていた基準

図　学校施設の築年別整備状況　　資料：平成 30 年度越前町学校施設台帳



（６）今後の維持・更新コスト（従来型）

ここでは、大規模改修と改築による従来型の管理を行った場合の今後 40 年間の維持・更新コストを試算します。

試算条件は次のとおりとします。

工種	工事周期	工事標準単価		
		校舎	体育館	給食センター
改築	50 年	330,000 円/㎡	330,000 円/㎡	330,000 円/㎡
大規模改修	20 年	82,500 円/㎡ （改築単価×25%）	72,600 円/㎡ （改築単価×22%）	82,500 円/㎡ （改築単価×25%）

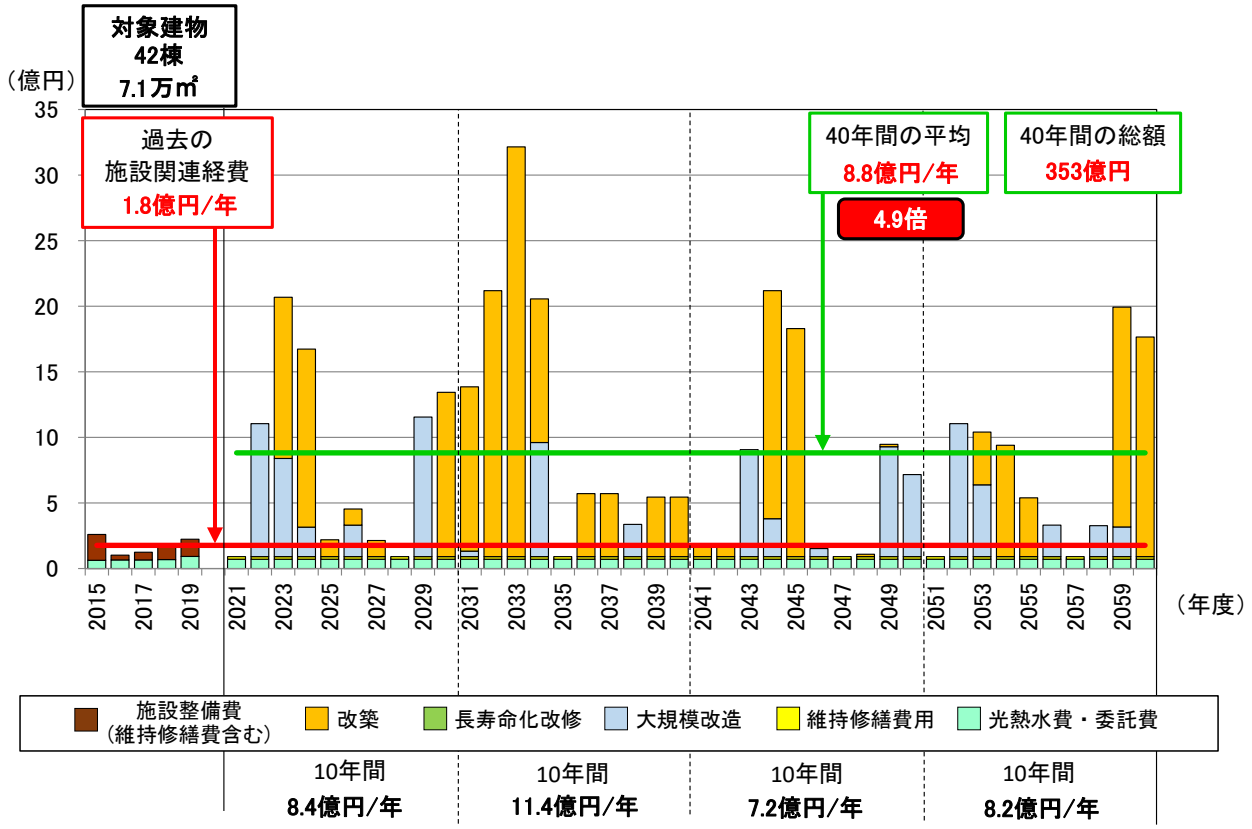
※工事周期は、学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属のエクセルソフトにある既定値や、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和 40 年大蔵省令第 15 号）における学校施設の耐用年数（ＲＣ造：47 年）を参照

※改築の単価は、多くの自治体の公共施設等総合管理計画で活用されている公共施設等更新費用試算ソフト（総務省）の単価を採用

※大規模改修の単価は、上記の単価をベースに、学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属のエクセルソフトにある既定値を採用

維持・更新コストは、これまでの実績や鉄筋コンクリート造建物の一般的な耐用年数等を踏まえ、20 年に 1 回程度の大規模改修（劣化した部分の改修等）、築 50 年程度で改築（建替え）を行った場合、今後 40 年間の総額で約 353 億円、平均約 8.8 億円/年となります。これは、過去 5 年間の施設関連経費の平均約 1.8 億円/年の約 4.9 倍に相当し、このままでは学校施設の適切な維持・管理が困難となることから、長寿命化改修を柱とする対策を検討していくことが必要です。

図　従来の修繕・改修を続けた場合の維持・更新コスト



２．学校施設の老朽化状況の実態

（１）構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

①　構造躯体の健全性の評価

≪調査方法≫

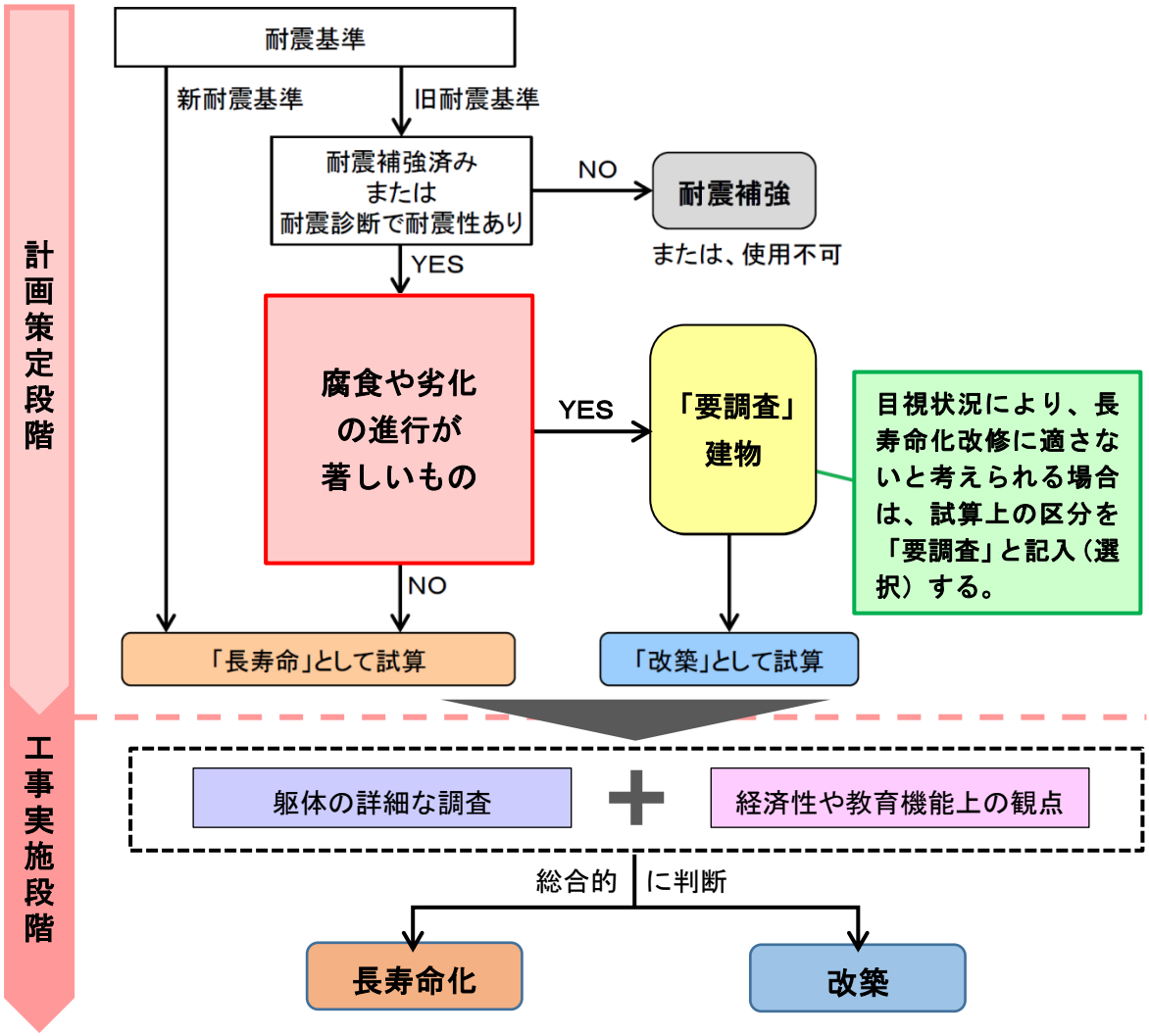
計画策定段階においては、すでに実施されている耐震補強の実施状況や目視状況等により、長寿命化改修に適さない可能性のある建物を簡易的に選別します。

なお、工事実施段階においては、躯体の詳細な調査を行うとともに、経済性や教育機能等の観点も含めて、長寿命化改修の可否について、総合的に判断します。

≪評価基準≫

新耐震基準の学校施設は、全て「長寿命化改修」とします。一方、旧耐震基準の学校施設のうち耐震補強済であるものは「長寿命化改修」を基本としますが、目視状況により、腐食や劣化の状況が著しく、長寿命化改修に適さないと考えられる場合は、試算上の区分を要調査とし、「改築」として試算します。

図　長寿命化の判定フロー　　出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書



構造躯体の健全性に係る評価結果は、下表のとおりです。屋外附帯施設を除く全ての施設を長寿命化改修の対象とします。

表　学校施設の基本情報と構造躯体の健全性

建物基本情報													構造躯体の健全性					
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度（N/㎟）	試算上の区分
1	244	朝日小学校	校舎1	1,2,3,4,5,6	小学校	校舎	RC	2	5,770	1982	S57	38	新	－	－	－	－	長寿命
2	244	朝日小学校	体育館	7	小学校	体育館	RC	2	1,307	1982	S57	38	新	－	－	－	－	長寿命
－	244	朝日小学校	屋外附帯	8	小学校	校舎	RC	1	117	1982	S57	38	－	－	－	－	－	－
3	245	常磐小学校	校舎1	1	小学校	校舎	RC	2	779	1974	S49	46	旧	済	済	H18	0.80	長寿命
4	245	常磐小学校	校舎2	3	小学校	校舎	RC	3	890	1983	S58	37	新	－	－	－	－	長寿命
5	245	常磐小学校	体育館	2	小学校	体育館	RC	1	747	1976	S51	44	旧	済	未	H18	1.03	長寿命
－	245	常磐小学校	屋外附帯	4	小学校	校舎	RC	1	68	1987	S62	33	－	－	－	－	－	－
6	246	糸生小学校	校舎1	10,11,12,13	小学校	校舎	RC	2	2,010	1986	S61	34	新	－	－	－	－	長寿命
7	246	糸生小学校	体育館	14	小学校	体育館	RC	2	904	1986	S61	34	新	－	－	－	－	長寿命
8	249	宮崎小学校	校舎1	6-1	小学校	校舎	RC	2	2,431	2003	H15	17	新	－	－	－	－	長寿命
9	249	宮崎小学校	校舎2	7-1	小学校	校舎	RC	2	1,442	2004	H16	16	新	－	－	－	－	長寿命
10	249	宮崎小学校	体育館	8-1,8-2	小学校	体育館	RC	2	1,276	2004	H16	16	新	－	－	－	－	長寿命
11	250	四ヶ浦小学校	校舎1	15,16,17	小学校	校舎	RC	3	2,182	1983	S58	37	新	－	－	－	－	長寿命
12	250	四ヶ浦小学校	校舎2	18	小学校	校舎	RC	3	1,834	1983	S58	37	新	－	－	－	－	長寿命
13	250	四ヶ浦小学校	校舎3	19	小学校	校舎	RC	1	248	1983	S58	37	新	－	－	－	－	長寿命
14	250	四ヶ浦小学校	体育館	20	小学校	体育館	RC	2	1,488	1983	S58	37	新	－	－	－	－	長寿命
－	250	四ヶ浦小学校	屋外附帯	21	小学校	校舎	RC	1	75	1982	S57	38	－	－	－	－	－	－
15	350	城崎小学校	校舎1	1	小学校	校舎	RC	3	3,861	1994	H6	26	新	－	－	－	－	長寿命
16	350	城崎小学校	体育館	2-1,2-2,3	小学校	体育館	RC	2	1,204	1994	H6	26	新	－	－	－	－	長寿命
－	350	城崎小学校	屋外附帯1	4	小学校	校舎	S	1	68	1994	H6	26	－	－	－	－	－	－
－	350	城崎小学校	屋外附帯2	5	小学校	校舎	S	1	66	1994	H6	26	－	－	－	－	－	－
－	350	城崎小学校	屋外附帯3	6	小学校	校舎	S	1	49	1994	H6	26	－	－	－	－	－	－
17	258	織田小学校	校舎1	3,12	小学校	校舎	RC	2	1,315	1994	H6	26	新	－	－	－	－	長寿命
18	258	織田小学校	校舎2	4	小学校	校舎	W	1	236	1994	H6	26	－	－	－	－	－	長寿命
19	258	織田小学校	校舎3	5	小学校	校舎	W	1	230	1994	H6	26	－	－	－	－	－	長寿命
20	258	織田小学校	校舎4	6	小学校	校舎	W	2	470	1994	H6	26	－	－	－	－	－	長寿命
21	258	織田小学校	校舎5	7	小学校	校舎	W	2	454	1994	H6	26	－	－	－	－	－	長寿命
22	258	織田小学校	校舎6	8	小学校	校舎	W	2	303	1994	H6	26	－	－	－	－	－	長寿命
23	258	織田小学校	校舎7	9	小学校	校舎	W	2	454	1994	H6	26	－	－	－	－	－	長寿命
24	258	織田小学校	校舎8	10	小学校	校舎	RC	2	500	1994	H6	26	新	－	－	－	－	長寿命
25	258	織田小学校	校舎9	11	小学校	校舎	W	1	288	1994	H6	26	－	－	－	－	－	長寿命
26	258	織田小学校	体育館	13	小学校	体育館	RC	1	1,224	1994	H6	26	新	－	－	－	－	長寿命
－	258	織田小学校	屋外附帯	14	小学校	校舎	W	1	84	1996	H8	24	－	－	－	－	－	－
27	259	萩野小学校	校舎1	1-1,1-2	小学校	校舎	RC	3	1,841	1980	S55	40	旧	済	未	H18	0.72	長寿命
28	259	萩野小学校	校舎2	1-3	小学校	校舎	S	1	122	1998	H10	22	－	－	－	－	－	長寿命
29	259	萩野小学校	体育館	2,3	小学校	体育館	RC	1	802	1980	S55	40	旧	済	未	H18	0.73	長寿命
－	259	萩野小学校	屋外附帯	4	小学校	校舎	S	1	74	1983	S58	37	－	－	－	－	－	－
30	3630	朝日中学校	校舎1	1-1,1-2,2-1,2-2	中学校	校舎	RC	2	7,562	2009	H21	11	新	－	－	－	－	長寿命
31	3630	朝日中学校	体育館	3-1,3-2,3-3	中学校	体育館	RC	2	2,588	2009	H21	11	新	－	－	－	－	長寿命
32	3630	陽光館	体育館	4-1,4-2,4-3,5	中学校	体育館	RC	3	2,750	1989	H元	31	新	－	－	－	－	長寿命
33	3587	宮崎中学校	校舎1	12,13,14	中学校	校舎	RC	2	3,093	1980	S55	40	旧	済	済	H18	0.86	長寿命
34	3587	宮崎中学校	校舎2	20	中学校	校舎	S	1	513	1991	H3	29	新	－	－	－	－	長寿命
35	3587	宮崎中学校	体育館	15,16	中学校	体育館	RC	2	1,856	1980	S55	40	旧	済	未	H18	0.92	長寿命
－	3587	宮崎中学校	屋外附帯1	17	中学校	体育館	RC	1	39	1980	S55	40	－	－	－	－	－	－
－	3587	宮崎中学校	屋外附帯2	18	中学校	校舎	RC	1	24	1980	S55	40	－	－	－	－	－	－
－	3587	宮崎中学校	屋外附帯3	19	中学校	部室	RC	1	40	1980	S55	40	－	－	－	－	－	－
36	3618	越前中学校	校舎1	1-1,1-2,1-3	中学校	校舎	RC	3	2,986	1973	S48	47	旧	済	済	H18	0.72	長寿命
37	3618	越前中学校	校舎2	2	中学校	校舎	RC	2	279	1973	S48	47	旧	済	済	H18	0.85	長寿命
38	3618	越前中学校	校舎3	3	中学校	校舎	RC	3	1,858	1973	S48	47	旧	済	済	H18	0.72	長寿命
39	3618	越前中学校	体育館	4,6	中学校	体育館	RC	2	2,325	1973	S48	47	旧	済	済	H18	0.77	長寿命
－	3618	越前中学校	屋外附帯	5	中学校	校舎	RC	1	30	1981	S56	39	－	－	－	－	－	－
40	3591	織田中学校	校舎1	9,9-1	中学校	校舎	RC	3	3,099	1982	S57	38	新	－	－	－	－	長寿命
41	3591	織田中学校	体育館	10-1,10-2,10-3	中学校	体育館	RC	2	2,115	1982	S57	38	新	－	－	－	－	長寿命
－	3591	織田中学校	屋外附帯1	11	中学校	校舎	S	1	32	1982	S57	38	－	－	－	－	－	－
－	3591	織田中学校	屋外附帯2	13	中学校	校舎	W	1	25	1989	H元	31	－	－	－	－	－	－
－	3591	織田中学校	屋外附帯3	14	中学校	校舎	S	2	49	1991	H3	29	－	－	－	－	－	－
42	－	越前町学校給食センター	給食センター	－	給食センター	給食センター	S	2	2,866	2018	H30	2	－	－	－	－	－	長寿命

屋外付帯施設は、小規模な施設であるため、長寿命化判定の対象外としている。
ただし、第６章 長寿命化の実施計画で、今後の維持・更新コストを算出するため、目視調査を行い、施設の劣化状況を確認している。

管理上の区分の整理

・学校施設台帳では、短期間で増築している部分等が、別棟として登録されているため、改築や改修を一体的に実施することが想定される棟をまとめて１つの建物として整理します。

・管理上の区分は、以下のルールを基本に整理します。

①棟のまとめ方は、改築や改修に際して、一体的に工事すべき「かたまり」を「ひとつの棟」とし、渡り廊下、増築した教室棟などを、本体の教室棟と一体と見なす。

②渡り廊下は、枝番号がある場合は、親番号の棟に含める。別の棟番号がある場合は、後で整備された棟に含める。

③建物としては一体でも、エキスパンションジョイントで分割された教室棟は、建築年が５年未満の場合は「ひとつの棟」としてまとめる。

・また、管理上の区分でまとめた建物の基本情報は、以下のルールにより整理します。

①建物名は、校舎１、校舎２…、体育館などとし、連番は棟の建築年度の古い順とする。

②建築年度は、最も古い建築年度とする。

③構造種別は、最大の床面積のものとする。

④階数は、最大のものとする。

②　構造躯体以外の劣化状況等の評価

構造躯体以外の劣化状況等の評価は、以下に示すステップ１、ステップ２の２段階で行いました。ステップ１では、対象施設について、現場で調査･点検を行い、屋上･屋根、外壁、内部仕上、電気･給排水･空調設備、屋外付帯の部位ごとに、健全度を４段階（A～D）で評価しました。

さらに、ステップ２では、上記の調査・点検結果を基に、次の基準に従い、部位別の健全度を５段階（A，B，C−，C，D）で評価しました。

ステップ１
現場調査・点検

対象施設について、現場で調査･点検を行い、屋上･屋根、外壁、内部仕上、電気･給排水･空調設備、屋外付帯の部位ごとに、健全度を４段階（A～D）で評価

表　現場調査・点検における健全度判定基準

良好

劣化

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急な対応が必要 （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し、設備運営に支障を与えている）等

※なお、A～Dの具体的な評価基準は、「資料編　参考１　ステップ１　現場調査・点検における健全度判定基準」参照。

ステップ２
部位別健全度判定

上記の調査・点検結果を基に、次の基準に従い、部位別の健全度を５段階（A，B，C−，C，D）で評価

表　部位別健全度判定基準

部位	健全度調査票	劣化状況	部位別健全度判定
屋根･外壁･外部躯体	D	1か所以上みられる	D
	C（緊急度高）	1か所以上みられる	C
	C（緊急度中）	1か所以上みられる	C−
	B	1か所以上みられる	B
上記以外の外部･内部･設備･屋外附帯	D	1か所以上みられる	D
	C（緊急度高）	複数もしくは広範囲	C
		1か所もしくは部分的範囲	C−
	C（緊急度中）	複数もしくは広範囲	C−
		1か所もしくは部分的範囲	B
	B	1か所以上みられる	B

参考　ステップ１　現地調査結果の概要（朝日小学校の一部抜粋）

・調査結果は、現地調査結果の概要（下表）として取り纏め、写真とともに整理しています。

学校名・棟名	棟番号	規模等	設置年度	築年数	部位	仕様	場所	点検調査結果概要	写真番号	健全度	緊急度
朝日小学校（校舎1）	1	ＲＣ造 2階 5770m2	S57 1982年	38	外壁・軒	複層塗材	東面	梁に吹付塗装の汚れ（目立つ）　軒裏の吹付塗装のめくれ（木片の露出）	4、8	C	高
					外部躯体	ＲＣ	東面	梁にクラック（小）、白華	5	B	低
					樋・金属・雑	竪とい	東面	竪樋（全て）塗装の劣化	6	C	中
					外部躯体	ＲＣ	東面（屋外階段）	モルタル笠木の欠落（落下の恐れ有）	7	C	高
					外壁・軒	複層塗材	北面	吹付塗装の劣化（全体）、浮き	9、13、19	C	中
					外部躯体	ＲＣ	北面	クラック（中・小）多数、白華、躯体欠け	10、12、14、15、16、17、18、20、21、23	C	中
					ｼｰﾘﾝｸﾞ	建具廻り	北面	サッシ廻り（全て）シーリングのひび割れ	11	C	中
					空調設備	換気扇	北面	換気扇シャッターの錆、腐食	22	B	低
					外部躯体	ＲＣ	西面	クラック（中）多数、モルタルの浮き　躯体の欠落	24、25、26、27、32	C	中
					電気設備	音響設備	西面	スピーカー受け金物に錆、腐食	28、32	B	低
					外壁・軒	ボード	西面	軒裏　ボードの塗装の劣化	29	B	低
					外壁・軒	複層塗材	西面	吹付塗装の剥がれ、白華	30、31	B	低
					樋・金属・雑	雑・他	西面	柱に付着のボルト×15の錆	33	B	低
					外部建具	鋼製建具	南面	鋼製建具の塗装の劣化	34	B	低
					外部躯体	ＲＣ	南面	柱のモルタル爆裂　躯体欠け、露筋に錆	35、37	C	高
					電気設備	盤	南面	コンセントスイッチボックスの錆、損傷	36	C	中
					外壁・軒	複層塗材	南面	吹付塗装の剥がれ頻度	38	B	低
					外壁・軒	ボード	南面	軒裏　ボードの汚れ	39	B	低
					外壁・軒	複層塗材	東面（屋外階段）	吹付塗装の剥がれ、ふくれ	40	B	低
					外部躯体	ＲＣ	東面（屋外階段）	モルタル笠木の浮き、欠落の恐れ有（落下の恐れ有）	41、42、50、51	C	高
					外部床・仕上げ	タイル	東面（屋外階段）	段鼻タイルの剥がれ、浮き（全体）	43、52	C	中
					空調設備	換気扇	東面	換気扇フードの汚れ	44	B	低
					外壁・軒	複層塗材	東面	吹付塗装の汚れ、剥がれ（多数・目立つ）、ひび割れ	45、46、48、49、54	C	高
					電気設備	配線・配管	東面	電気配線の露出	47	C	中
					電気設備	雑・その他	東面	コンセントボックスの外れ跡	53	C	中
					電気設備	音響設備	東面	スピーカー受け金物に錆、腐食	55	B	低
					外部躯体	ＲＣ	東面	庇の奥行が短い（給食搬入口で建築上問題あり）	56	C	高
					外部建具	鋼製建具	東面	鋼製建具の塗装の劣化	57、61	B	低
					樋・金属・雑	雑・他	東面	チェッカープレートの塗装劣化、錆	58	C	中

参考　現地調査結果写真台帳（朝日小学校の一部抜粋）

建物名	朝日小学校（校舎1）
構造・階数	RC造　2階

写真番号	7（東面）
種別	外部躯体
細別	階段　モルタル笠木の欠落

写真番号	8（東面）
種別	外壁・軒
細別	階段　吹付塗装のめくれ（木片の露出）

写真番号	9（北面）
種別	外壁・軒
細別	吹付塗装の劣化（全体）

写真番号	10（北面）
種別	外部躯体
細別	軒裏（全体）クラック（小）、多数白華

写真番号	11（北面）
種別	シーリング
細別	サッシ周り（全体）　シーリングのひび割れ

写真番号	12（北面）
種別	外部躯体
細別	クラック（中）L＝2.0m

ステップ２部位別健全度判定の結果は、下表のとおりです。

表　ステップ２　部位別健全度判定一覧

通し番号	施設名	建物名	建築											設備			屋外附帯
			屋根	外壁	外部躯体	外部・雑金属	外部建具	外部床	内部建具	内部仕上床	内部仕上壁	内部仕上天井	内部・雑金属	電気	給排水衛生	空調換気	
1	朝日小学校	校舎1	C-	C	C	C-	B	C	C-	C-	C	C	C-	B	A	B	C
2	朝日小学校	体育館	C-	C	C	B	C-	C-	A	C-	B	A	A	C-	A	A	
3	常磐小学校	校舎1	C-	D	C-	C-	A	B	B	A	B	B	A	B	C-	C-	C
4	常磐小学校	校舎2	C	C	C	B	A	B	A	A	B	C-	B	A	B	C-	
5	常磐小学校	体育館	C	C-	C	C-	A	B	B	C-	C	B	B	B	A	A	
6	糸生小学校	校舎1	C-	C-	C-	B	B	B	A	B	B	C-	B	B	B	C-	C
7	糸生小学校	体育館	B	C-	C	B	B	B	B	B	C-	C-	A	B	A	A	
8	宮崎小学校	校舎1	C-	D	A	B	B	B	C-	C-	B	A	C-	A	B	A	C
9	宮崎小学校	校舎2	A	C-	A	A	A	A	A	B	B	C-	B	B	B	A	
10	宮崎小学校	体育館	C-	C-	A	C-	A	A	B	A	B	A	A	B	A	C-	
11	四ヶ浦小学校	校舎1	C	C	C	A	A	B	B	B	B	A	B	A	A	A	C
12	四ヶ浦小学校	校舎2	C	C	A	A	A	A	B	A	B	B	A	A	B	A	
13	四ヶ浦小学校	校舎3	B	B	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	
14	四ヶ浦小学校	体育館	C	C	C	C	B	A	A	C-	C-	A	A	A	A	C-	
15	城崎小学校	校舎1	C	D	C-	C-	C-	B	A	C	C-	C-	A	B	B	C-	C
16	城崎小学校	体育館	C	C	A	A	B	A	B	B	C-	A	A	A	A	A	
17	織田小学校	校舎1	C-	C-	A	C-	A	C	A	A	B	C-	A	A	B	C	C
18	織田小学校	校舎2	A	C-	A	A	C-	B	A	C-	A	A	A	A	A	A	
19	織田小学校	校舎3	A	C-	A	B	A	A	A	C-	A	A	A	A	A	A	
20	織田小学校	校舎4	C-	C-	A	A	A	A	A	A	A	C-	A	A	A	C	
21	織田小学校	校舎5	C-	C-	A	A	A	A	A	C-	A	A	A	A	A	A	
22	織田小学校	校舎6	C-	C-	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
23	織田小学校	校舎7	C-	C-	A	A	A	A	A	C-	B	A	A	A	A	A	
24	織田小学校	校舎8	C-	B	A	A	C-	A	A	A	A	A	A	B	A	A	
25	織田小学校	校舎9	A	A	A	A	A	A	A	C-	B	B	A	A	A	C	
26	織田小学校	体育館	A	C-	C-	C-	A	A	B	C	A	A	B	A	A	A	
27	萩野小学校	校舎1	D	C	C-	C	C-	A	B	C-	C-	C-	C	A	A	A	C
28	萩野小学校	校舎2	B	B	A	A	A	A	A	C-	B	C-	A	A	A	A	
29	萩野小学校	体育館	C	C-	C-	C	C-	B	B	B	C-	C-	B	B	A	A	

通し番号	施設名	建物名	建築											設備			屋外附帯
			屋根	外壁	外部躯体	外部・雑金属	外部建具	外部床	内部建具	内部仕上床	内部仕上壁	内部仕上天井	内部・雑金属	電気	給排水衛生	空調換気	
30	朝日中学校	校舎1	A	B	C	B	C-	B	A	A	B	A	A	B	A	A	A
31	朝日中学校	体育館	A	C-	C-	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	
32	陽光館	体育館	C-	C	C	C-	B	B	B	C	C	C-	C-	C-	B	A	A
33	宮崎中学校	校舎1	C	C	C	C-	C-	B	B	C-	C-	C-	C-	A	A	C-	D
34	宮崎中学校	校舎2	C-	C-	B	C-	C-	B	A	B	B	A	A	A	A	B	
35	宮崎中学校	体育館	C-	C-	D	C-	B	A	B	C-	C-	C-	C-	B	A	A	
36	越前中学校	校舎1	C-	C-	C	B	A	B	C-	C-	C-	B	B	A	A	C-	D
37	越前中学校	校舎2	A	B	A	C-	A	B	A	C-	C-	A	A	C	B	A	
38	越前中学校	校舎3	A	B	A	B	A	B	A	C-	C	C	C-	A	B	B	
39	越前中学校	体育館（渡廊下含）	C-	C-	A	A	C-	B	B	C-	C-	B	C	B	A	A	
40	織田中学校	校舎1	C	C	C-	C-	A	B	C-	C-	C-	C	A	A	C-	C-	C
41	織田中学校	体育館	C	C-	D	C-	B	C-	C-	B	B	C	A	A	A	A	
42	越前町学校給食センター	給食センター	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	A	A	A	A

第３章　学校施設の目指すべき姿

越前町総合振興計画や越前町公共施設等総合管理計画の内容を踏まえつつ、教育の振興に関する大綱に掲げられた考え方を基本に学校施設の目指すべき姿を次のように整理します。

整理に際しては、学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き・解説書が示す「学校施設整備基本構想の在り方について」を参照しています。

Ⅰ．安全性の高い学校施設

災害対策	・地震や洪水等の災害に強く、防災機能が充実した学校施設
防犯・事故対策	・安全で安心な学校施設

Ⅱ．快適性の高い学校施設

快適な学習環境	・学習能率の向上に資する快適な学習環境 ・児童生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校 ・バリアフリーに配慮した環境 ・子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間（自主性を養う空間の充実）
教職員に配慮した環境	・教職員に配慮した空間や教職員等の事務負担軽減などのための校務の情報化に必要なＩＣＴ環境

Ⅲ．学習環境への適応性が高い学校施設

主体性を養う空間の充実	・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境（言語活動の充実） ・子どもたちの教科等に対する興味関心を引き、自ら学ぶ主体的な行動を促すための空間
効果的･効率的な施設整備	・習熟度別指導や少人数指導などの、きめ細かい個に応じた指導を行うための空間 ・調べ学習や習熟度別学習、ティームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間（学校図書館の活用） ・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのＩＣＴ環境（学校図書館の活用、言語活動の充実） ・各教科等の授業を充実させるための環境
言語活動の充実	・各教科等における発表･討論などの教育活動を行うための空間
運動環境の充実	・充実した運動ができる環境
伝統や文化に関する教育の充実	・伝統や文化に関する教育を行うための環境
外国語教育の充実	・外国語活動等におけるジェスチャーゲームなどの体を動かす活動や、ペアやグループでの活動など、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図ることができるような空間
学校図書館の活用	・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境
キャリア教育･進路指導の充実	・充実したキャリア教育･進路指導を行うための環境
相談環境の充実	・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、教育相談員が相談活動を行うための環境
食育の充実	・食育のための空間

特別支援教育の推進	・自閉症、情緒障害又はＡＤＨＤ等のある児童生徒に配慮した学校施設
環境教育の充実	・地球環境問題への関心を高めるためのエコスクール

Ⅳ．環境への適応性が高い学校施設

環境への適応性	・環境を考慮した学校施設（太陽光発電システムの設置など）

Ⅴ．地域の拠点となる学校施設

地域の拠点化	・バリアフリーに配慮した環境 ・地域に開かれた学校とするための環境 ・地域の生涯学習、生涯スポーツの拠点となる学校施設（学校図書館や体育館の活用等） ・多様な交流を促進する学校施設

教育の振興に関する大綱（令和３年２月）

基本となる指針のうち学校施設整備に関連する内容を抜粋

（１）学校教育環境の充実

①中高一貫教育をはじめ、学力を伸ばし、夢や志を実現しようとする力を身に付ける教育を推進する

②外国語によるコミュニケーション能力の向上を図り、多様な価値観を身に付けたグローバルに活躍できる人材の育成を推進する

③学校の業務改善を図り、課題に対応できる教員の指導力向上を目指す

④道徳教育・人権教育に学校全体で取り組み、心豊かで健康な子どもを育成するとともに、いじめや不登校問題の未然防止・早期解決に努める

⑤学校ＩＣＴ環境の整備を計画的に進めることにより、子どもたち一人ひとりの能力や特性に応じた学びを保障し、誰一人取り残すことのない教育環境を整える

⑥子どもたちにとってより良い教育環境と充実した学校教育の実現のため、学校教育環境の在り方や適正な学校規模について検討する

⑦地場産食材を取り入れた給食を提供し、地域に根ざした食文化の理解や生産者に感謝する心を育む食育の充実を図る

（２）地域に根ざした教育の推進

①学校や地域におけるふるさと教育の充実を図り、郷土への誇りと愛情を育む心、地域や社会に貢献する志の育成を推進する

②学校や家庭・関係機関・地域が一体となり、社会教育への支援を通して、子どもたちの活動の活性化と青少年の健全育成を推進する

（３）生涯学習体制の充実

⑦町内各小中学校、保育所、児童館、ボランティアグループなどと読書推進について、連携・協力しながら、未来を担う子どもたちの読書活動を支援する

（４）スポーツの振興

②スポーツ関係団体や総合型地域スポーツクラブ（えちぜんスポーツクラブ）の継続的な運営支援や育成を図る

⑤計画的な施設整備を図り、安全・安心で利用しやすい環境をつくる

第４章　学校施設整備の基本的な方針等

１．学校施設の規模・配置計画等の方針

越前町公共施設等総合管理計画の「公共施設等の管理に関する基本的な考え方」や「施設類型ごとの管理に関する個別方針」を踏まえ、学校施設の長寿命化計画及び規模･配置計画等の方針を次のとおりとします。

越前町公共施設等総合管理計画

公共施設等の管理に関する基本的な考え方

管理に関する基本方針

・これまでの公共施設等の現状及び将来見通しを踏まえると、人口減少・少子高齢化の進行による公共施設等に対する利用需要の変化が生じるとともに、財政状況がさらに厳しさを増すことが予想されます。
・今後、全ての公共施設等をそのまま維持し続けることは非常に困難であり、新規に整備が必要な公共施設等もあることを考えると、**更新費用をできるだけ抑えつつ、町民が将来にわたり安全かつ安心して利用できる公共施設等を提供**しなければなりません。
・このため、以下の方針により、公共施設等の整備、維持管理及び運営に取り組みます。

管理に関する基本的な考え方

✧ 複合整備
・**新規の施設整備**については、**同一施設の複合化・統廃合**などの可否判断を行った上で、実施にあたっての検討を行います。

✧ 適正管理
・老朽化等により**休止・廃止した施設**については、**売却や貸付**等の可否判断を行います。
・それらが見込めない場合は、原則、**取り壊し**を行うなど、周辺環境や治安に配慮していきます。

✧有効活用
・**利用率が低い施設や空きスペース**が見受けられる場合については、**民間等への貸付けや施設の転用**などを検討します。

✧未利用財産の処分
・**将来の利用が見込めない土地等**については、**売却**を検討し、公共施設等の維持管理に係る財源の確保を図ります。

✧官民連携と町民との協働
・**指定管理者制度の導入拡充**や**ＰＰＰ手法（公民連携）の活用**検討など、効果的かつ効率的な公共施設等の運営を図ります。
・必要に応じて**民間施設の活用**を検討するなど、新たな公共サービスの導入に取り組みます。

施設類型ごとの管理に関する個別方針（学校施設）

・全ての学校において耐震化工事は完了しているものの、老朽化した設備等については、**計画的に維持補修**を行うとともに、児童及び生徒の安全を第一に考え、**緊急度を優先した修繕に努めながら長寿命化**を図ります。
・また、少子化を見据えた適正な学校規模によるより良い学校教育環境づくりを推進するため、**地域住民の意向も聞きながら学校再編整備の検討**を行います。

学校施設の長寿命化計画及び規模・配置計画等の方針

・現在の小中学校は、越前町公共施設等総合管理計画の「施設類型ごとの管理に関する個別方針（学校施設）」を踏まえ、**定期的な点検調査による予防保全型の維持補修**を行うとともに、**緊急度を優先した計画的な長寿命化改修**等により、学校施設の性能や機能の維持を図ります。

・また、今後も年少人口の減少が見込まれる中では、**小中学校の適正化（機能的・合理的な再編等）**について検討していくことが必要です。
・学校施設は、**教育の場、児童生徒が長時間過ごす生活の場**であるとともに、生涯学習や地域交流の場、災害時における避難所など、**地域住民の身近な公共施設**でもあることから、適正化に関しては、**保護者をはじめとする地域住民や学校施設に係る様々な関係者の意見を聞きながら検討**していくものとします。

２．改修等の基本的な方針

（１）長寿命化の方針

中長期的な維持・改築等に係るコストの縮減・予算の平準化を実現するため、次に示すような建物を除き、改築より工事費が安価で工期が短く、廃棄物や二酸化炭素の排出量が少ない長寿命化改修を実施することを基本とします。

【長寿命化改修に適さない可能性のある建物】

・鉄筋コンクリートの劣化が激しいなど、改修に多額の費用が必要となるため、改築したほうが安価となる建物

・鉄骨造、木造等で、腐食や劣化の進行が著しい建物　など

※計画策定段階において「長寿命化」と判定した施設でも、工事実施段階においては、躯体の詳細な調査を行うとともに、経済性や教育機能等の観点も含めて、長寿命化改修の可否について、総合的に判断します。

（２）目標耐用年数、改修周期の設定

①　目標耐用年数の設定

長寿命化の推進による目標耐用年数は、日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」を基に、構造別に次のように設定します。

【鉄筋コンクリート造】	**７５年**
【鉄骨造】	**６０年**
【木　造】	**６０年**

参考　鉄筋コンクリート造の目標耐用年数の算定

算定式：目標耐用年数

Y＝YS×A×B×C×D×E×F×G×H＝60×1.0×1.0×1.0×0.56×1.5×1.5×1.0×1.0＝75.6

≒**75 年**

YS：標準耐用年数（日本建築学会による学校施設の標準耐用年数は 60 年）

→ **60 年**

A：コンクリートの種類（普通コンクリート＝1.0、軽量コンクリート＝0.95）

→ 設計図書より **1.0**

B：セメントの種類（ポルトランドセメント＝1.0、高炉セメント A＝0.85　、高炉セメント B＝0.8）

→ 設計図書より **1.0**

C：水セメント比（65％＝1.0、60％＝1.2、55％＝1.5）

→ 安全をみて **1.0**

D：かぶり厚さ（20mm＝0.25、30mm＝0.56、40mm＝1.0、50mm＝1.56）

→ 壁 30mm、柱・梁 30mm より **0.56**

E：外壁仕上げ材（無＝0.5、複層塗材＝1.0、モルタル 15mm 以上＝1.5、タイル＝3.0）

→ モルタル 15mm 以上が多く、コンクリート打放しについては増し打ち 20mm しているので **1.5**

F：コンクリートの施工状況（通常の施工＝1.0、入念な施工＝1.5）

→ 工事監理者配置による適切な現場監理を実施していることにより **1.5**

G：建物維持保全の程度（劣化後も補修しない＝0.5、劣化部分を補修する＝1.0）

→ 建物を予防保全および事後保全を実施していくことにより **1.0**

H：地域（一般＝1.0、凍結融解を受ける地域＝0.9、海岸＝0.8）

→ 一般により **1.0**

参考　鉄骨造・木造の目標耐用年数の算定

表　建築物全体の望ましい目標耐用年数の級

構造種別 / 用途	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		重量鉄骨造		木造
	高品質の場合	普通の品質の場合	高品質の場合	普通の品質の場合	
学校・官庁	Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y60以上
住宅・事務所・病院	Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y40以上
店舗・旅館・ホテル	Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y40以上
工場	Y40以上	Y25以上	Y40以上	Y25以上	Y25以上

表　目標耐用年数の級の区分

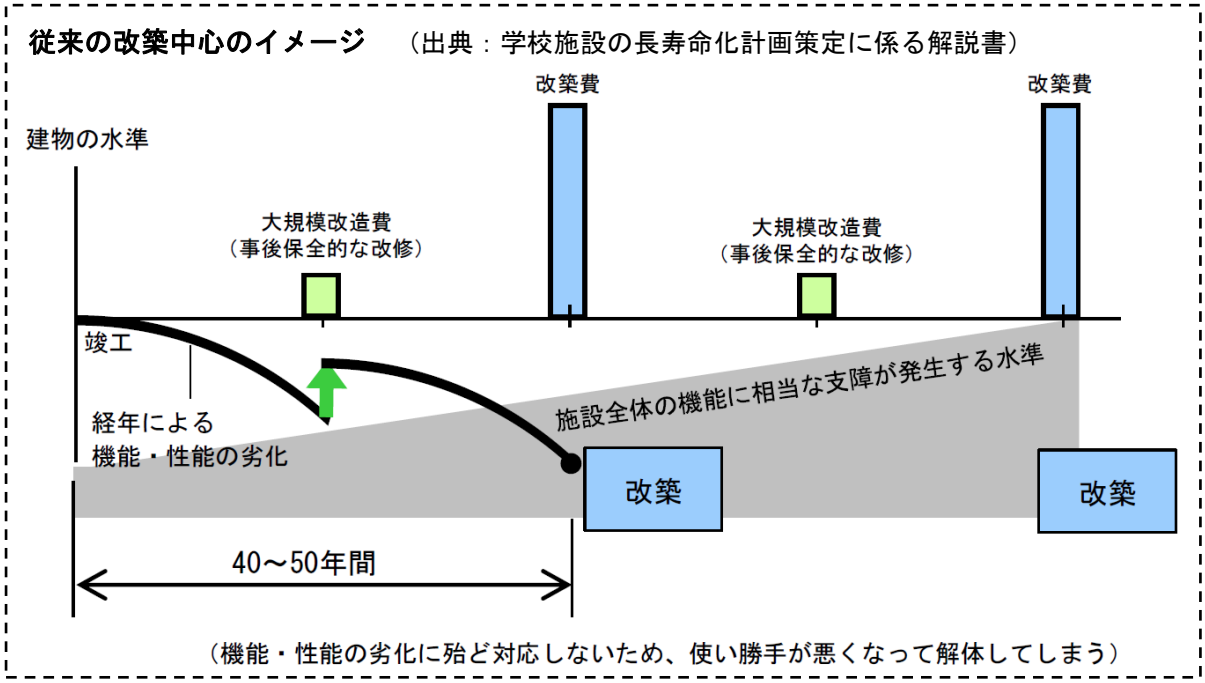
級	目標耐用年数		
	代表値	範囲	下限値
Y150	150年	120～200年	120年
Y100	100年	80～100年	80年
Y60	60年	50～80年	50年
Y40	40年	30～50年	30年
Y25	25年	20～30年	20年

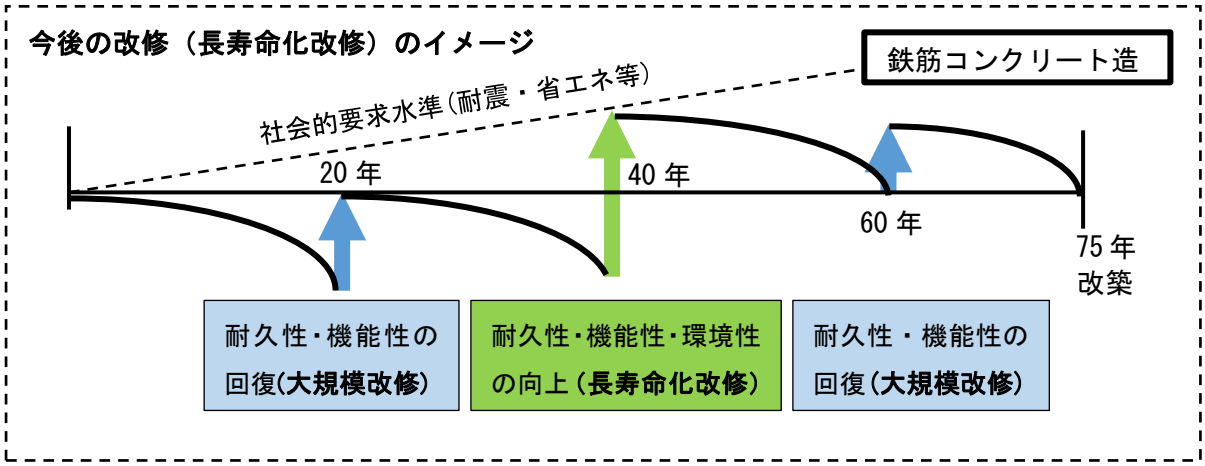
出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

② 改修周期の設定

全国的にみて、全体の約 9 割を占める鉄筋コンクリート造学校施設の改築までの年数は、概ね 40 年程度となっています。鉄筋コンクリート造学校施設の法定耐用年数は 47 年となっていますが、物理的な耐用年数はこれより長く、適切な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には 70～80 年程度利用することが可能です。

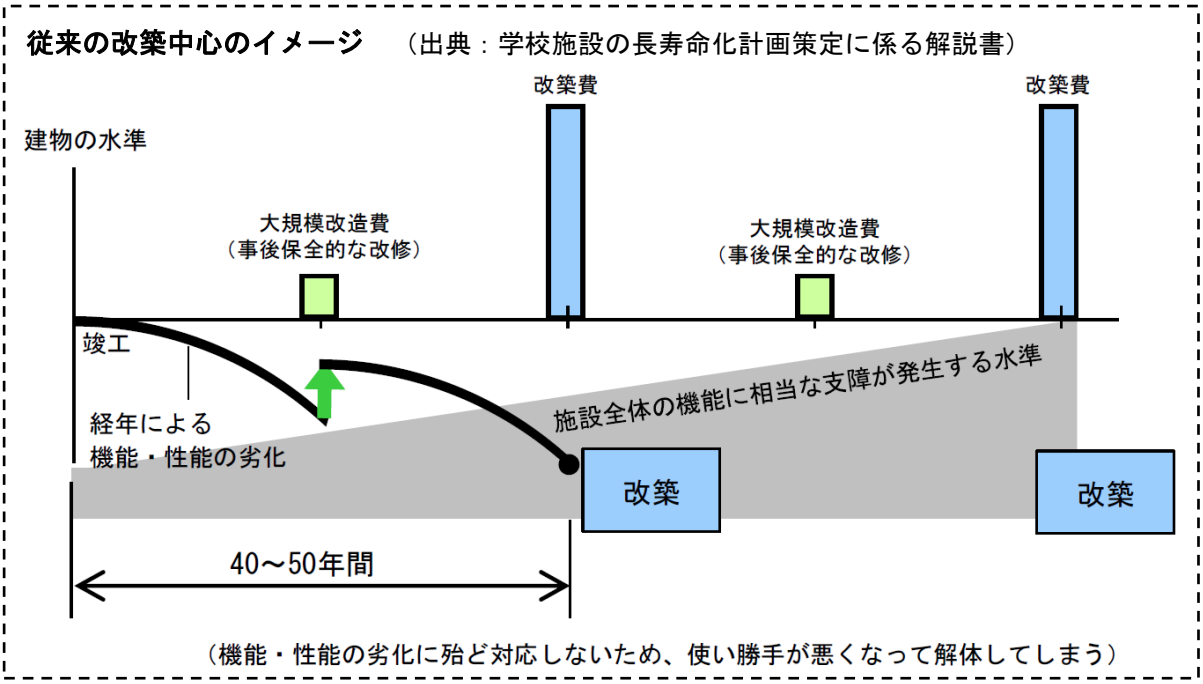
このため、長寿命化の方針に従い、長寿命化改修が適切と判断される建物については、先に定めた目標耐用年数の実現に向けて、下図に示す改修周期により、長寿命化改修や大規模改修を実施していくことを基本とします。

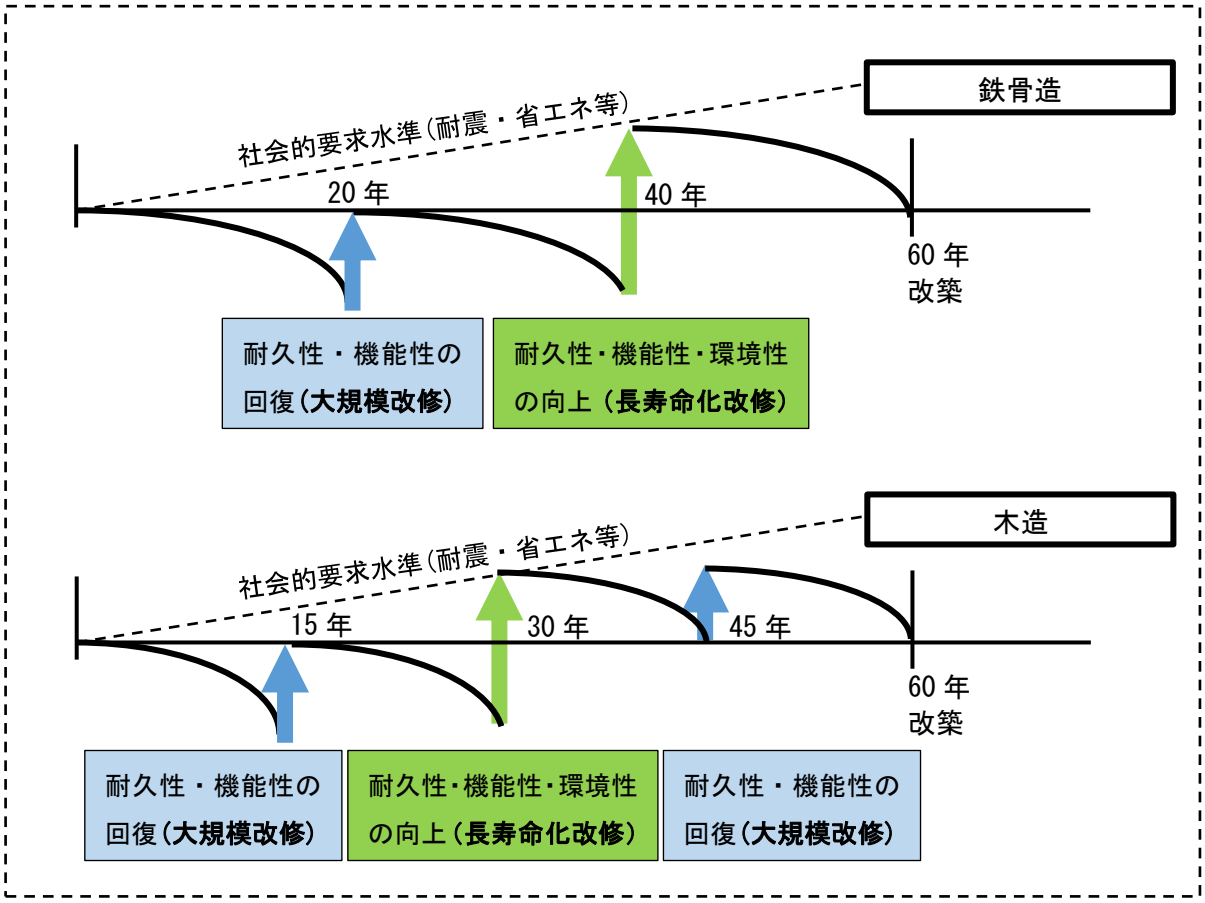




また、鉄骨造、木造についても長寿命化の方針に従い、長寿命化改修が適切と判断される建物については、先に定めた目標耐用年数の実現に向けて、下図に示す改修周期により、長寿命化改修や大規模改修を実施していくことを基本とします。

このうち、木造の改修周期は、本町で唯一の木造校舎である織田小学校の仕様（木質外壁等）を考慮した改修周期としています。





第５章　基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

１．改修等の整備水準

（１）改修等に係る基本方針

長寿命化改修や大規模改修については、次の方針に基づき「耐久性」や「機能」等の維持・向上を図ります。

■長寿命化改修の方針案（40 年以上経過した建物）

・建物を目標耐用年数まで利用するために、各部位のグレードアップや設備を更新して耐久性を高める
・施設を長く利用できるよう、室内環境の向上、省エネルギー化、ユニバーサルデザイン等を検討する
・時代と共に少子高齢化等の社会情勢やニーズの変化に対応するために、施設機能の複合化・学校現場の ICT 化など、新たに求められる機能や質の向上を図る

長寿命化のポイント

１．耐久性の向上　**２．施設環境・質の向上**　**３．新たな機能・複合化**

具体的内容例（大規模改修＋α）

【耐久性の向上】
・中性化対策・鉄筋の腐食対策・かぶり厚確保のうち、いずれか一つ以上、屋根・外壁仕上げ・塗装仕様のグレードアップ、電気・給排水管等ライフラインの更新※、今後 30 年以上利用できる内装の更新等※　→ **長寿命化改良事業の補助条件となる**

【施設環境・質の向上】
・屋根・外壁の高断熱化やサッシの高断熱化結露対策、日射遮蔽、心理的室内環境の向上（木質化等）、エレベーターの設置（特別支援学級対応）　→ **必要に応じて行う**

【新たな機能・複合化】
・ICT 機能や Web 遠隔授業の充実、多目的・オープンスペースの設置、図書室とコンピューター室との一体化、地域への学校開放に対応　→ **必要に応じて行う**

※既存が 30 年以上使用できるものとして判断した部分については、実施しなくてよい場合がある

■大規模改修の方針案

・建物の躯体と機能を保持するために、必要な部位や設備などについて改修する
・機能向上については、可能な範囲で行う
・内部改修は劣化が激しい部分や緊急を要する部分を行い、大規模な内部改修は行わない

具体的内容例

【耐久性保持】
・躯体のクラック・欠損対策、防水・外壁仕上げ・シーリング等の外部老朽化改修（標準仕様）

【機能保持・向上】
・寿命によるエアコンや照明機器の更新（LED）、給排水・防災避難設備の老朽化改修

【事後保全】
・安全衛生上緊急を要する部分の改修。内部については劣化・損傷が著しく美観上・機能上問題（床：つまずきの恐れ、天井：雨漏れ跡が目立つなど）となる部分の改修

（２）長寿命化改修の整備水準

長寿命化改修の方針案を踏まえ、「耐久性の向上」、「施設環境・質の向上」、「新たな機能・複合化」といった視点から、長寿命化改修に係る整備水準を次のとおりとします。

表　「耐久性の向上」に資する整備水準

種別	対策内容	具体的手法例
コンクリート躯体耐久性	中性化・塩害対策	アルカリ性付与剤塗布によりアルカリ性回復させ、浸透性防錆剤を塗布
	断面欠損・露筋錆	コンクリートを鉄筋の裏まで斫り、錆落し、防錆処理とポリマーセメントモルタルにより断面欠損復旧
	ひび割れ	0.2mm以下：ｼｰﾘﾝｸﾞ被覆　0.2～0.8mm：エポキシ樹脂等低圧注入 0.8mm以上：Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ
外壁・軒裏の劣化	塗装劣化	防水型複層塗材E(フッ素樹脂上塗）の高耐久性吹付材
	被覆による改修	ガルバニウム鋼板（開口部周り水切りと屋上笠木の改修を考慮）
	ﾀｲﾙ・ﾓﾙﾀﾙの浮き	アンカーピンニング工法もしくはタイル等張替
	打ち放し仕上げ面の清掃・保護	高圧洗浄とｼｮｯﾄﾌﾞﾗｽﾄにて汚れ・白華落し、補修面下地ﾓﾙﾀﾙ薄塗、フッ素系水性保護クリア塗料
	金属面の錆・塗装劣化改修	DP塗(フッ素樹脂塗装）の高耐久性塗装
	軒裏　金属成形板改修	アルミスパンドレル張
	軒裏　ケイカル板改修	ケイカル板の上DP塗
	開口部周り、躯体ｼｰﾘﾝｸﾞの劣化	シーリング改修
屋上防水の劣化	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水改修	改質アスファルト防水とし既存防水層の上からかぶせ工法とする。高反射ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗布（10年毎に塗替）
		改質アスファルト防水とし既存防水層は撤去する。　高反射ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗布（10年毎に塗替）
	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水改修(断熱仕様）	改質アスファルト防水とし既存防水層は撤去する。　外断熱仕様 高反射ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗布（10年毎に塗替）
	塩ビｼｰﾄ防水改修	高耐久性塩ビシート2.0m機械固定工法(軽歩行)とし、既存露出防水は撤去する(押えコンの場合はﾌﾟﾗｲﾏｰ処理等）
		塩ビシート1.5m機械固定工法(軽歩行)とし、既存露出防水は撤去する(押えコンの場合はﾌﾟﾗｲﾏｰ処理等）
	ウレタン塗膜防水	既存塗膜防水の上（付着状況が良好な場合に限る）ウレタン塗膜防水重ね塗り(下地ﾒｯｼｭ、ﾌﾟﾗｲﾏｰ処理等）
屋根金物の劣化	アルミ製笠木の改修	アルミ製笠木の更新（防水改修時に更新するケースあり）
	塩ビ縦樋の塗装と更新	塩ビ製縦樋（SOP塗は10年毎塗装）
勾配屋根の劣化	ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ屋根改修	高耐久性アスファルトシングルをかぶせ葺き
	鋼板屋根改修	既存金属屋根の上にDP塗(フッ素樹脂塗装）（鋼板の劣化の程度が少なく、葺替えの予算が無い場合）
		既存金属屋根の上にウレタン塗膜防水スプレー工法を被覆（鋼板の劣化が多くみられ、葺替えの予算が無い場合）
		高耐久性のガルバニウム鋼板に葺き替え
		高耐久性のガルバニウム鋼板カバー工法
		高耐久性のガルバニウム鋼板カバー工法　断熱材充填
設備配管の劣化（※建築工事は別途）	鋼管系の劣化	排水管：VP管に更新　給水管：HIVP管に更新
	ガス管の劣化	屋外：PE管に更新　屋内：SGP管に更新
	維持管理	メンテナンスがしやすい配線・配管ルートにて更新
設備機器の劣化（※建築工事は別途）	受変電設備機器	高圧受変電設備機器(屋内型）の更新
		高圧受変電設備機器(屋外型）の更新
	自家発電設備機器(防災避難）	非常用自家発電機器の更新
	自火報設備機器(防災避難）	感知器、受信機、発信機の更新
	音響設備機器	アンプ、スピーカー、マイクの更新
	タンク類	受水槽、給水、給湯の更新
	ポンプ類(給水・防災避難）	給水、消火栓

表　「施設環境・質の向上」に資する整備水準

種別	対策内容	具体的手法例
室内環境の向上	断熱性能の向上	屋上：改質アスファルト防水とし既存防水層は撤去する　外断熱仕様　高反射ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗布
		金属勾配屋根：高耐久性のガルバニウム鋼板カバー工法　断熱材充填
		壁面：外断熱化（外壁下地、開口部水切り、笠木等の改修を考慮）荷重確認必要
	開口部の断熱・結露対策	単板ガラスを複層ガラスに交換（建具枠と障子枠は交換しないため、老朽化改善にはならない）
		アルミサッシを断熱サッシ(Low-Eガラス)に改修
	日射遮蔽・太陽光反射	ライトシェルフ兼庇の設置
	室内照度を上げる	勾配天井にて外からの光を取り入れたり、白系で反射率の高い仕上げ材
	防音性能	天井を岩綿吸音板とし壁面を吸音ボードとする
	通風の確保・冷暖房区画	教室と廊下の間仕切りを高窓付パーテーションとして廊下側からの通気を確保、冷暖房区画
	心理的環境の向上(内装木質化)	床仕上げをフローリングに改修
		壁や腰壁を木張り仕上げに改修
	空調機器の導入	暖房能力の目安：　クラスルーム16kw/室　　特別教室20kw/室
省エネルギー化	自然風の確保	階段室の通風経路を利用したセンサー付換気窓システム
	自然エネルギーの利用	太陽光発電
	エネルギー効率機器	LED照明機器の導入、（階段・便所は人感センサー付）
		空調機器(EHP等)の更新・新設（可能であれば吸収式冷温水発生機→EHPに変更）
生活機能を改善	トイレの充実	利用しやすくきれいなトイレ（トイレの床ドライ化）、人感センサー付小便器、節水型便器、自動水洗の導入
	身障者等への配慮	スロープや多目的トイレの設置

表　「新たな機能・複合化」に資する整備水準

種別	対策内容	取組内容
学習機能の充実	空き教室の活用	グループ学習や発表の場や展示などのオープンスペースを普通教室に隣接
		多目的に利用できるランチルームを整備
	図書館機能の充実	図書室を利用しやすい位置に配置転換して活発に利用させる
		パソコンを気楽に利用して調べものをしたり、学校で宿題できる場を設ける
		地域開放を想定する
少子化対策	空き教室のコンバージョン	地域ニーズ応じた施設の整備することにより、各施設整備費や運営管理費を削減させる
	特別教室の活用	地域に開放された施設の整備することにより、児童と高齢者等との世代間交流を創出させる
柔軟性・可変性の確保	改修・増築に対応しやすくする	将来の学校形態・地域利用者のニーズの変化に応じた機能性向上や用途変更

２．維持管理の項目・手法等

学校施設の長寿命化を適切に進めるためには、計画的な改修等に加え、日常的、定期的に施設の点検や清掃、情報管理を行うことが重要です。

日常的、定期的に維持管理を行うことで、建物の劣化状況をリアルタイムで詳細に把握することが可能となり、状況に応じた対策が可能となります。

表　維持管理の項目・手法等の例

項目		内容	頻度	主な担当
日常点検		機器及び設備について、異常の有無、兆候を点検	毎日	施設管理者
定期点検	自主点検	機器及び設備の破損、腐食状況を点検	1 週、1 ヶ月、半年、1 年等の周期を設定	施設管理者 施設設置者
	法定点検	建築基準法第 12 条に基づく点検	3 年周期	専門業者
臨時点検		日常、定期点検以外に臨時的に実施する点検	随時	施設管理者 施設設置者 専門業者
清掃		快適な環境を維持しながら建物の仕上材や機器の寿命を延ばすため、塵や汚れを除去	各点検に合わせて随時実施	施設管理者 専門業者

第６章　長寿命化の実施計画

１．改修等の優先順位付けと実施計画

（１）改修等の優先順位

改修等の優先順位は、「第２章の２．学校施設の老朽化状況の実態」で評価した、**各施設**の**健全度**と**経過年数**を**点数化**し、判定します。

優先順位の判定フローは、概ね次のとおりです。

部位別健全度評価（点数化）

ステップ１　現場調査・点検（健全度評価）

・対象施設について、現場で調査･点検を行い、屋上･屋根、外壁、内部仕上、電気･給排水･空調設備、屋外付帯の部位ごとに、健全度を４段階（A～D）で評価

表　現場調査・点検における健全度判定基準

良好 ↑ 劣化

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急な対応が必要 （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し、設備運営に支障を与えている）等

ステップ２　部位別健全度判定

・ステップ１の現場調査・点検結果を基に、次の基準に従い、部位別の健全度を５段階（A，B，C−，C，D）で評価

表　部位別健全度判定基準

部位	健全度評価	劣化状況	部位別健全度判定
屋根･外壁･外部躯体	D	1か所以上みられる	D
	C（緊急度高）	1か所以上みられる	C
	C（緊急度中）	1か所以上みられる	C−
	B	1か所以上みられる	B
上記以外の外部･内部･設備･屋外附帯	D	1か所以上みられる	D
	C（緊急度高）	複数もしくは広範囲	C
		1か所もしくは部分的範囲	C−
	C（緊急度中）	複数もしくは広範囲	C−
		1か所もしくは部分的範囲	B
	B	1か所以上みられる	B

ステップ３　部位別健全度評価（点数化）

・ステップ２の部位別健全度判定結果を基に、次の基準に従い点数化

※健全度点数 ＝ Σ 部位ごとの健全度評価点×部位ごとの重要度係数

・各部位の健全度点数の合計値を棟ごとに偏差値で評価

表　部位別健全度評価点

評価	評価点
A　評価	10
B　評価	40
C−　評価	60
C　評価	70
D　評価	100

表　各部位の重要度係数

高 ↑ 重要度 ↓ 低

部位	係数	判断基準
屋根	1.00	安全性･構造への影響が大きい
外壁	1.00	
外部躯体	1.00	
外部･雑金属	0.50	予防保全(計画保全)を行うべき
外部建具	0.50	
外部床	0.50	
内部建具	0.20	事後保全（適正な維持管理）を行うべき
内部床仕上	0.20	
内部壁仕上	0.20	
内部天井仕上	0.20	
内部･雑金属	0.20	
電気設備	0.50	予防保全(計画保全)を行うべき
給排水衛生設備	0.25	事後保全（適正な維持管理）を行うべき
空調設備	0.50	予防保全(計画保全)を行うべき
屋外付帯	0.25	事後保全（適正な維持管理）を行うべき

経過年数評価（点数化）

・対象施設の経過年数を次の基準に従い点数化

※経過年数評価点 ＝ 経過年数

・ただし、過去 20 年間に屋根と外壁の両方について大規模改修を行っている場合は一律に－15 点

・経過年数評価点を棟ごとに偏差値で評価

優先度判定

・健全度評価（偏差値）と経過年数評価（偏差値）の合計値で各棟の総合順位を決定

表　優先度判定表

優先度	総合順位	長寿命化及び大規模改修の実施期間
優先度 1	1～10	2021～2024 年の 4 年間
優先度 2	11～20	2025～2028 年の 4 年間
優先度 3	21～35	2029～2032 年の 4 年間
優先度 4	36～42	2033 年以降

優先順位の判定フローに基づき評価した結果は次のとおりです。

表　優先度判定一覧表

通し番号	施設名	建物名	建築											設備			屋外附帯	1.0			0.5			0.2					0.5	0.25	0.5	0.25	劣化度総合評価			経過年評価			総合順位	優先度
			屋根	外壁	外部躯体	外部・雑金属	外部建具	外部床	内部建具	内部仕上床	内部仕上壁	内部仕上天井	内部・雑金属	電気	給排水衛生	空調換気		屋根	外壁	外部躯体	外部・雑金属	外部建具	外部床	内部建具	内部仕上床	内部仕上壁	内部仕上天井	内部・雑金属	電気	給排水衛生	空調換気	屋外附帯	劣化度点数	偏差値	順位	経過年点数	偏差値	順位		
1	朝日小学校	校舎1	C-	C	C	C-	B	C	C-	C-	C	C	C-	B	A	B	C	60	70	70	60	40	70	60	60	70	70	60	40	10	40	70	392	64.54	2	38	57.29	11	4	1
2	朝日小学校	体育館	C-	C	C	B	C-	C-	A	C-	B	A	A	C-	A	A		60	70	70	40	60	60	10	60	40	10	10	60	10	10		344	59.09	11	38	57.29	11	11	2
3	常磐小学校	校舎1	C-	D	C-	C-	A	B	B	A	B	B	A	B	C-	C-	C	60	100	60	60	10	40	40	10	40	40	10	40	60	60	70	368	61.87	6	46	64.69	5	1	1
4	常磐小学校	校舎2	C	C	C	B	A	B	A	A	B	C-	B	A	B	C-		70	70	70	40	10	40	10	10	40	60	40	10	40	60		332	57.79	15	37	56.36	15	14	2
5	常磐小学校	体育館	C	C-	C	C-	A	B	B	C-	C	B	B	B	A	A		70	60	70	60	10	40	40	60	70	40	40	40	10	10		333	57.85	14	44	62.84	6	6	1
6	糸生小学校	校舎1	C-	C-	C-	B	B	B	A	B	B	C-	B	B	B	C-	C	60	60	60	40	40	40	10	40	40	60	40	40	40	60	70	338	58.47	12	34	53.59	17	17	2
7	糸生小学校	体育館	B	C-	C	B	B	B	B	B	C-	C-	A	B	A	A		40	60	70	40	40	40	40	40	60	60	10	40	10	10		300	54.11	17	34	53.59	17	20	2
8	宮崎小学校	校舎1	C-	D	A	B	B	B	C-	C-	B	A	C-	A	B	A	C	60	100	10	40	40	40	60	60	40	10	60	10	40	10	70	296	53.71	18	17	37.87	37	25	3
9	宮崎小学校	校舎2	A	C-	A	A	A	A	A	B	B	C-	B	B	B	A		10	60	10	10	10	10	10	40	40	60	40	40	40	10		168	39.20	36	16	36.94	38	40	4
10	宮崎小学校	体育館	C-	C-	A	C-	A	A	B	A	B	A	A	B	A	C-		60	60	10	60	10	10	40	10	40	10	10	40	10	60		245	47.87	23	16	36.94	38	34	3
11	四ヶ浦小学校	校舎1	C	C	C	A	A	B	B	B	B	A	B	A	A	A	C	70	70	70	10	10	40	40	40	40	10	40	10	10	10	70	287	52.63	20	22	42.49	33	23	3
12	四ヶ浦小学校	校舎2	C	C	A	A	A	A	B	A	B	B	A	A	B	A		70	70	10	10	10	10	40	10	40	40	10	10	40	10		213	44.30	27	22	42.49	33	31	3
13	四ヶ浦小学校	校舎3	B	B	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A		40	40	10	10	10	10	10	40	10	10	10	10	10	10		134	35.29	40	22	42.49	33	39	4
14	四ヶ浦小学校	体育館	C	C	C	C	B	A	A	C-	C-	A	A	A	A	C-		70	70	70	70	40	10	10	60	60	10	10	10	10	60		338	58.41	13	37	56.36	15	13	2
15	城崎小学校	校舎1	C	D	C-	C-	C-	B	A	C	C-	C-	A	B	B	C-	C	70	100	60	60	60	40	10	70	60	60	10	40	40	60	70	412	66.86	1	26	46.19	21	16	2
16	城崎小学校	体育館	C	C	A	A	B	A	B	B	C-	A	A	A	A	A		70	70	10	10	40	10	40	40	60	10	10	10	10	10		225	45.60	25	26	46.19	21	24	3
17	織田小学校	校舎1	C-	C-	A	C-	A	C	A	A	B	C-	A	A	B	C	C	60	60	10	60	10	70	10	10	40	60	10	10	40	70	70	276	51.44	21	26	46.19	21	22	3
18	織田小学校	校舎2	A	C-	A	A	C-	B	A	C-	A	A	A	A	A	A		10	60	10	10	60	40	10	60	10	10	10	10	10	10		168	39.14	37	26	46.19	21	33	3
19	織田小学校	校舎3	A	C-	A	B	A	A	A	C-	A	A	A	A	A	A		10	60	10	40	10	10	10	60	10	10	10	10	10	10		143	36.31	39	26	46.19	21	35	3
20	織田小学校	校舎4	C-	C-	A	A	A	A	A	A	A	C-	A	A	A	C		60	60	10	10	10	10	10	10	10	60	10	10	10	70		208	43.68	28	26	46.19	21	27	3
21	織田小学校	校舎5	C-	C-	A	A	A	A	A	C-	A	A	A	A	A	A		60	60	10	10	10	10	10	60	10	10	10	10	10	10		178	40.27	34	26	46.19	21	32	3
22	織田小学校	校舎6	C-	C-	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A		60	60	10	40	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		183	40.84	33	26	46.19	21	30	3
23	織田小学校	校舎7	C-	C-	A	A	A	A	A	C-	B	A	A	A	A	A		60	60	10	10	10	10	10	60	40	10	10	10	10	10		184	40.95	32	26	46.19	21	29	3
24	織田小学校	校舎8	C-	B	A	A	C-	A	A	A	A	A	A	B	A	A		60	40	10	10	60	10	10	10	10	10	10	40	10	10		188	41.41	31	26	46.19	21	28	3
25	織田小学校	校舎9	A	A	A	A	A	A	A	C-	B	B	A	A	A	C		10	10	10	10	10	10	10	60	40	40	10	10	10	70		120	33.70	41	26	46.19	21	37	4
26	織田小学校	体育館	A	C-	C-	C-	A	A	B	C	A	A	B	A	A	A		10	60	60	60	10	10	40	70	10	10	40	10	10	10		217	44.70	26	26	46.19	21	26	3
27	萩野小学校	校舎1	D	C	C-	C	C-	A	B	C-	C-	C-	C	A	A	A	C	100	70	60	70	60	10	40	60	60	60	70	10	10	10	70	371	62.16	5	40	59.14	7	5	1
28	萩野小学校	校舎2	B	B	A	A	A	A	A	C-	B	C-	A	A	A	A		40	40	10	10	10	10	10	60	40	60	10	10	10	10		154	37.55	38	22	42.49	33	36	4
29	萩野小学校	体育館	C	C-	C-	C	C-	B	B	B	C-	C-	B	B	A	A		70	60	60	70	60	40	40	40	60	60	40	40	10	10		351	59.89	10	40	59.14	7	8	1
30	朝日中学校	校舎1	A	B	C	B	C-	B	A	A	B	A	A	B	A	A	A	10	40	70	40	60	40	10	10	40	10	10	40	10	10	10	234	46.62	24	11	32.32	40	38	4
31	朝日中学校	体育館	A	C-	C-	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A		10	60	60	10	10	10	10	10	40	10	10	10	10	10		174	39.82	35	11	32.32	40	41	4
32	陽光館	体育館	C-	C	C	C-	B	B	B	C	C	C-	C-	C-	B	A	A	60	70	70	60	40	40	40	70	70	60	60	60	40	10	10	375	62.67	4	31	50.81	19	15	2
33	宮崎中学校	校舎1	C	C	C	C-	C-	B	B	C-	C-	C-	C-	A	A	C-	D	70	70	70	60	60	40	40	60	60	60	60	10	10	60	100	384	63.63	3	40	59.14	7	2	1
34	宮崎中学校	校舎2	C-	C-	B	C-	C-	B	A	B	B	A	A	A	A	B		60	60	40	60	60	40	10	40	40	10	10	10	10	40		290	52.97	19	29	48.97	20	21	3
35	宮崎中学校	体育館	C-	C-	D	C-	B	A	B	C-	C-	C-	C-	B	A	A		60	60	100	60	40	10	40	60	60	60	60	40	10	10		359	60.80	8	40	59.14	7	7	1
36	越前中学校	校舎1	C-	C-	C	B	A	B	C-	C-	C-	B	B	A	A	C-	D	60	60	70	40	10	40	60	60	60	40	40	10	10	60	100	325	56.94	16	47	65.61	1	3	1
37	越前中学校	校舎2	A	B	A	C-	A	B	A	C-	C-	A	A	C	B	A		10	40	10	60	10	40	10	60	60	10	10	70	40	10		195	42.26	29	47	65.61	1	18	2
38	越前中学校	校舎3	A	B	A	B	A	B	A	C-	C	C	C-	A	B	B		10	40	10	40	10	40	10	60	70	70	60	10	40	40		194	42.14	30	47	65.61	1	19	2
39	越前中学校	体育館（渡廊下含）	C-	C-	A	A	C-	B	B	C-	C-	B	C	B	A	A		60	60	10	10	60	40	40	60	60	40	70	40	10	10		267	50.36	22	47	65.61	1	12	2
40	織田中学校	校舎1	C	C	C-	C-	A	B	C-	C-	C-	C	A	A	C-	C-	C	70	70	60	60	10	40	60	60	60	70	10	10	60	60	70	357	60.63	9	38	57.29	11	10	1
41	織田中学校	体育館	C	C-	D	C-	B	C-	C-	B	B	C	A	A	A	A		70	60	100	60	40	60	60	40	40	70	10	10	10	10		367	61.70	7	38	57.29	11	9	1
42	越前町学校給食センター	給食センター	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	A	A	A	A	10	10	10	10	10	10	10	40	40	40	10	10	10	10	10	86	29.84	42	2	23.99	42	42	4

（２）改修等の実施計画

①　直近５年間の施設別整備計画

令和 3 年度（2021 年度）から令和 7 年度（2025 年度）の直近 5 年間では、優先度判定が「１」となった施設を基本に、改修等を計画します。

また、改修に関しては、厳しさを増す財政状況を考慮し、施設整備に係る補助制度を最大限活用することを想定しています。

このため、具体的な整備計画については、①健全度判定に基づく整備優先度、②長寿命化による目標耐用年数（RC は 75 年）、③長寿命化改修等に係る補助要件（築年数 40 年以上でかつ長寿命化改修後 30 年以上使用する等）等を考慮し、総合的に判断します。

また、織田小学校の校舎は、整備優先度「３」「４」ですが、本町で唯一の木造校舎であり、目標耐用年数の実現に向けては、概ね 15 年周期で外壁（木質）の改修を行うことが望ましいことから、先に設定した改修周期に従い、令和 6～7 年度に長寿命化改修（次頁参照）を行うものとします。

図　直近 5 年間の工種別・年度別整備計画

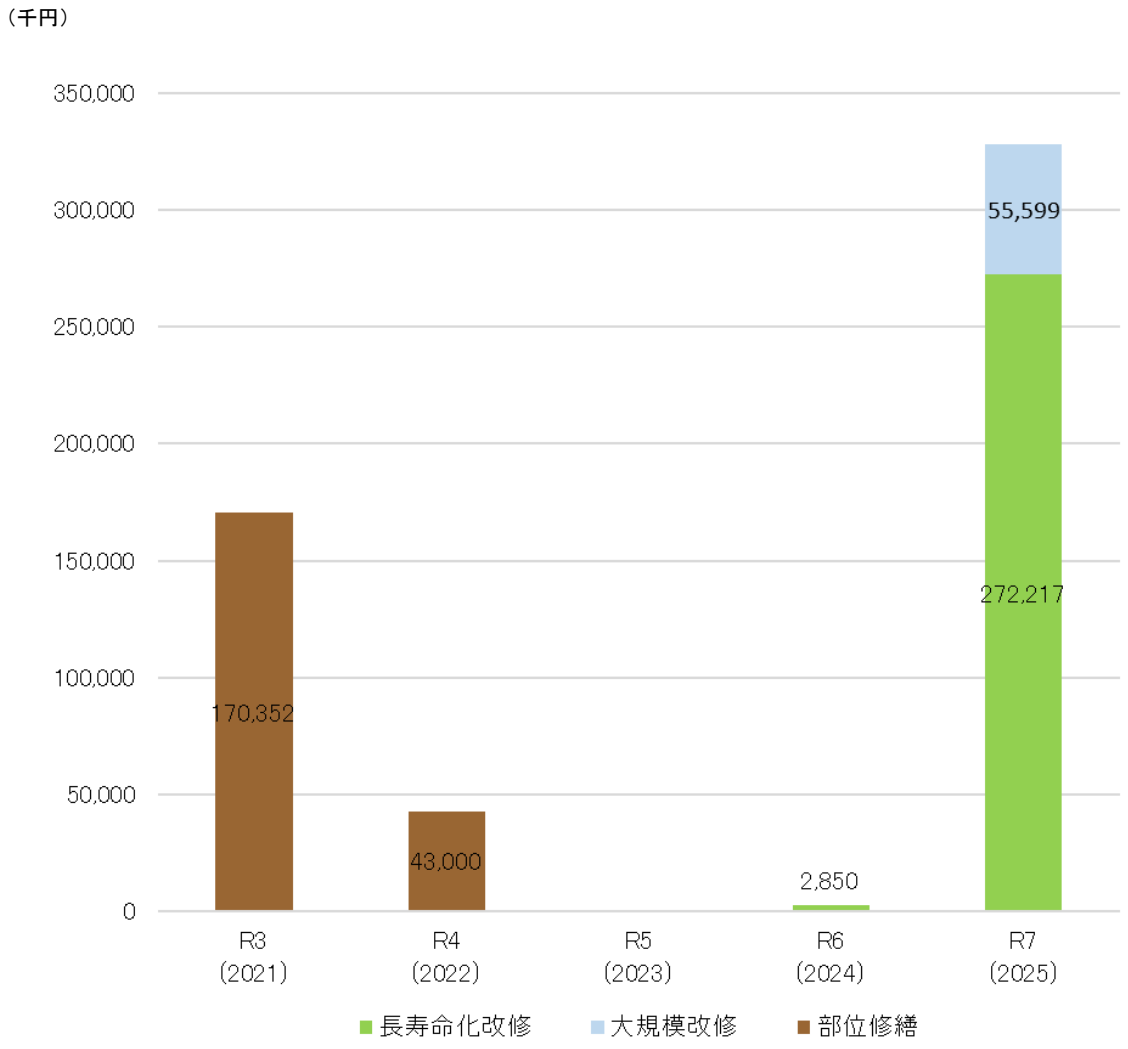


表　直近 5 年間の学校施設別・工種別整備計画　（単位：千円、税抜）

学校施設	和暦 西暦	R3 （2021）	R4 （2022）	R5 （2023）	R6 （2024）	R7 （2025）
朝日小学校	校舎					226,088
	体育館	7,975				25,724
	屋外附帯等					20,405
常磐小学校	校舎1	210				
	校舎2					
	体育館					
	屋外附帯等					
糸生小学校	体育館	5,335				
宮崎小学校	校舎	210				
	体育館	7,711				
四ヶ浦小学校	体育館	7,106				
城崎小学校	校舎	310				
	体育館	5,082				
織田小学校	校舎	7,260				55,599
	体育館	45,397				
萩野小学校	体育館	7,843				
朝日中学校	体育館				1,900	
宮崎中学校	体育館	9,779			950	
越前中学校	校舎					
	体育館	13,805				
織田中学校	校舎	52,329	43,000			
	体育館					
	屋外附帯等					
合計		170,352	43,000	0	2,850	327,816
改築						
長寿命化改修				0	2,850	272,217
大規模改修						55,599
部位修繕		170,352	43,000			
合計		170,352	43,000	0	2,850	327,816

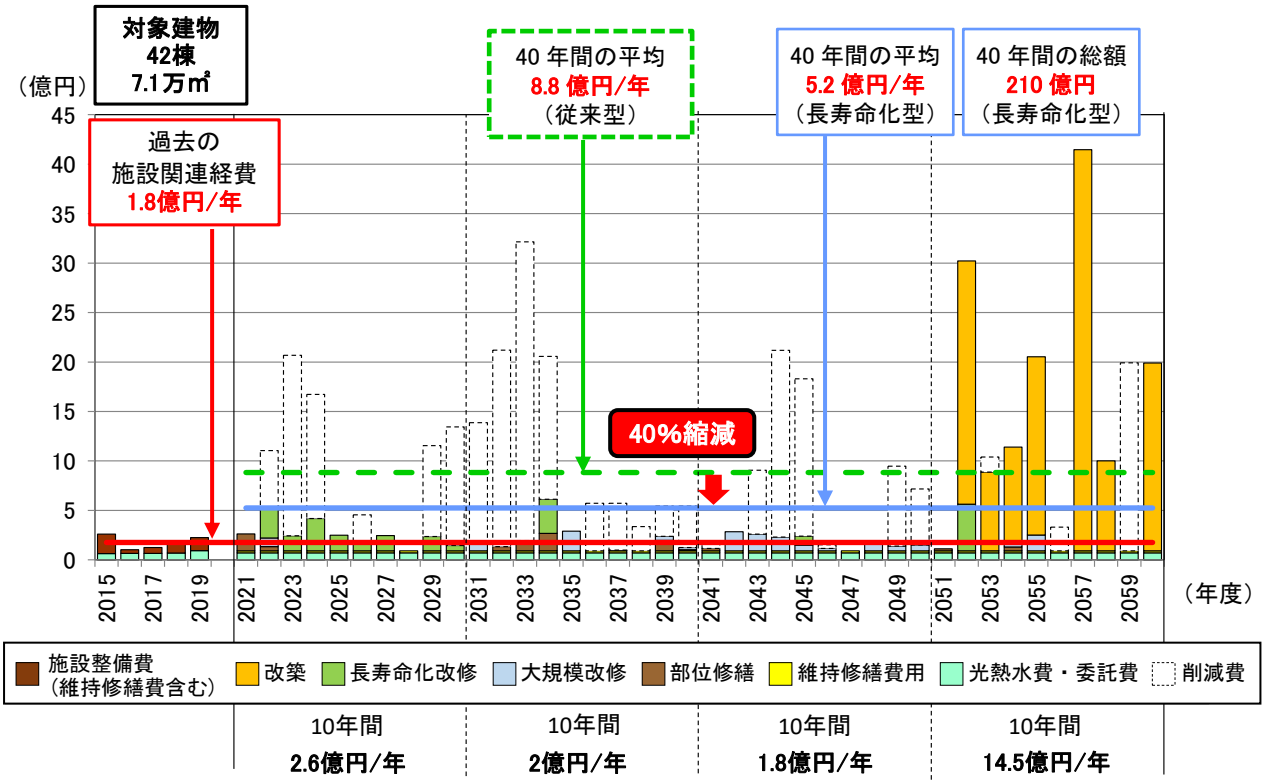
■長寿命化改修　■大規模改修　■部位修繕

（３）今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

①　今後 40 年間の維持・更新コスト

施設の維持・更新について、改築中心の従来型管理からの転換を図り、大規模改修に加え、建物の性能や機能を向上させる長寿命化改修による管理を行った場合、今後 40 年間のコストは、総額で約 210 億円、平均約 5.2 億円/年となります。これは、従来型の維持・更新コスト（総額 353 億円、平均約 8.8 億円/年）対して、約 40%の縮減（総額約 143 億円、年平均約 3.6 億円の縮減）となります。

図　長寿命化を実施した場合の維持・更新コスト



２．長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

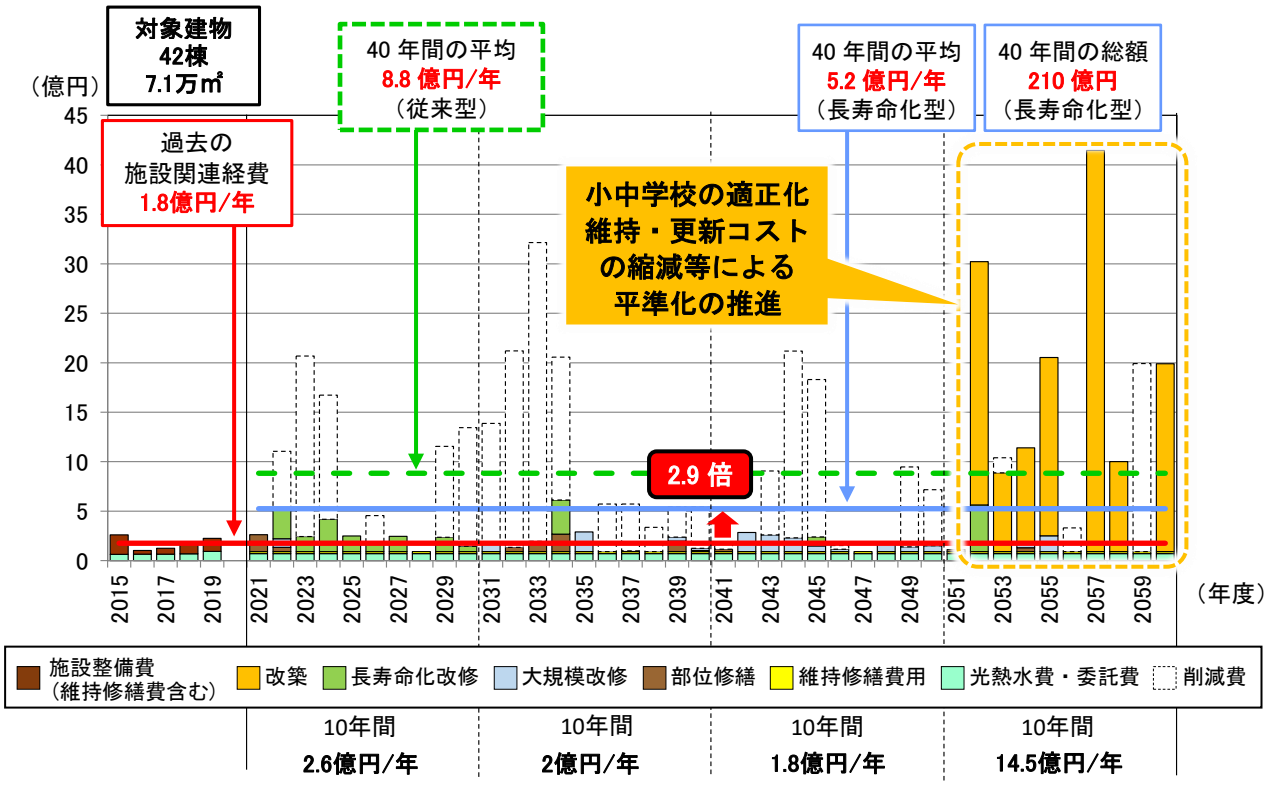
今後の学校施設の維持・更新コストは、施設の長寿命化を推進した場合でも、過去５年間の施設関連経費の約 2.9 倍に増加すると見込まれます。令和 32 年度（2050 年度）までの 30 年間は、長寿命化改修等の実施により、維持・更新コストを大きく削減できますが、令和 33 年度（2051 年度）以降は、多くの施設が長寿命化改修後の更新時期を迎えることから、短期間で膨大なコスト（約 14.5 億円）が必要になると見込まれます。

一方、児童生徒数等は年々減少しており、今後もその傾向が続くと推計されていることから、学校施設整備の基本的な方針等を踏まえつつ、小中学校の適正化（機能的・合理的な再編等）等を検討し、適切な施設の配置と保有量を確保しつつ、更新コストの削減に努めていくものとします。

また、本町の長期財政見通しとの整合を図る中で、長寿命化等による予防保全型管理を計画的・効率的に実施する他、エコスクール化等を推進し、光熱水費の抑制等に努めていくものとします。

このような取り組みを進めることで、今後の学校施設の維持・更新コストの縮減と平準化を図ることとします。

図　長寿命化の効果と課題



第７章　長寿命化計画の継続的運用方針

１．情報基盤の整備と活用

「第５章　２．維持管理の項目・手法等」で整理した内容に基づき、施設の状態や過去の改修・交換履歴、事故・故障の発生状況等をデータベースとして蓄積します。データベースは、建築基準法に基づく 12 条点検等の法定点検の結果等、継続的な点検・調査の結果に基づいて、適切に更新していくものとします。

２．推進体制等の整備

本町の公共施設を取り巻く課題に対応していくためには、学校施設だけでなく、全ての公共施設を対象とした総合的な管理が必要です。

このため、越前町公共施設等総合管理計画の「公共施設等の管理に関する基本的な考え方」に従い、今後、公共施設及びインフラ施設の総合的かつ計画的な管理を継続していきます。公共施設等総合管理計画の担当課を中心に、情報の一元管理、大規模修繕や建替えにあたっての優先順位の協議、個別の事業計画と全体方針との調整など、庁内の横断的なマネジメントによる維持・管理等を推進するための体制を構築します。

３．フォローアップ

本計画は、計画期間 40 年の長期的な計画であり、その間における学校教育や地域を取り巻く様々な環境の変化に対応した実効性のある計画とするため、概ね５年を目途にＰＤＣＡサイクルによる定期的な見直しを行うものとします。

また、定期的な見直し以外でも、著しい社会経済情勢や行財政事情等の変化が生じた場合には、随時、計画を見直すものとします。

越前町学校施設等長寿命化計画

資料編

参考１

ステップ１　現場調査・点検における健全度判定基準

表　屋上･屋根に係る健全度の評価基準（ステップ１）

仕　様	A	B	C	D
アスファルト保護防水	特に無し	保護コンクリートの部分的なひび割れがみられる。 目地の剝れや損傷が部分的にみられる。	保護コンクリートの部分的な断面欠損や、広範囲にひび割れがみられる。 目地の剝れが広範囲にみられる。施工不良による排水不良がみられる。	保護コンクリートが広範囲に欠損しており、部分的もしくは広範囲で漏水している。
アスファルト露出防水	特に無し	部分的に膨れや防水層表面材の摩耗がみられる。 トップコートの摩耗がみられる。	継ぎ目のひび割れや表面材の摩耗が広範囲にみられる。 施工不良による排水不良がみられる。 ドレン廻りに亀裂がみられる。	大きなひび割れ・破断・損壊が広範囲にみられ、部分的に下地の露出がみられる。 部分的もしくは広範囲で漏水している。
シート防水	特に無し	部分的に膨れ、しわ、表面材の摩耗がみられる。	膨れ、しわ、表面材の摩耗が広範囲にみられる。 部分的に小さな亀裂や接合部のはがれがみられる。	大きな膨れやしわが広範囲にみられる。 シートのめくれによる下地の露出がみられる。 部分的もしくは広範囲で漏水している。
塗膜防水	特に無し	部分的に膨れやトップコートの摩耗がみられる。	トップコートが完全に劣化しており、下地(メッシュ)が浮き出ている。 膨れが広範囲にみられる。	大きな膨れが広範囲にみられる。 下地(メッシュ)の完全露出がみられる。 部分的に亀裂がみられる。 部分的もしくは広範囲で漏水している。
立上り（保護）	特に無し	防水保護材(モルタルや成形板等)に部分的なひび割れがみられる。	防水保護材(モルタルや成形板等)に大きなひび割れや欠落があり、防水材が露出している。	防水材に大きなひび割れや摩耗・継ぎ目の破断がみられ、末端シーリング等が完全に劣化している。
立上り（露出）	特に無し	部分的に膨れやトップコートの摩耗がみられる。	防水材に亀裂・ふくれが多くみられ、下地(メッシュ)が浮き出ている。 水切り金物や端末シーリングの劣化が広範囲にみられる。	防水材に大きなひび割れや摩耗・継ぎ目の破断がみられ、その結果下地の露出がみられる。
笠木	特に無し	金属系笠木の継ぎ目シーリングが劣化している。 モルタル笠木の塗装等仕上げ材が劣化している。	金属系笠木に発錆・腐食がみられる。 モルタル笠木にひび割れやモルタルの浮きがみられる。	金属系笠木の欠落がみられる。 モルタル笠木の大きなひび割れやモルタルの欠損がみられる。
瓦・スレート屋根	特に無し	色褪せがみられる。棟部分の漆喰が劣化している。	瓦のズレや部分的な割れがみられる。	瓦のズレや欠落が多くみられ、部分的に下地の露出がみられる。 部分的もしくは広範囲で漏水している。
鋼板屋根	特に無し	部分的に塗装のはがれ・さびがみられる。	塗装のはがれ・さびが広範囲にみられ、雪止め金物や取付金物に部分的な腐食・損壊がある。	さびが広範囲にみられるほか、腐食が部分的にみられる。 部分的もしくは広範囲で漏水している。

表　外壁に係る健全度の評価基準（ステップ１）

仕　様	A	B	C	D
塗装・吹付け	特に無し	全体的に色褪せて、チョーキング現象が発生している。 亀甲ひび割れ・水垢等による汚れ・塗膜の浮きやふくれれが少数であるがみられる。	広範囲に色褪せや水垢等による汚れ・亀甲ひび割れや錆び汁がみられ、さらに部分的に塗膜の亀裂・はがれ・ふくれがみられる。	広範囲に塗膜の亀裂やふくれや脱落がみられる。 触れると塗膜が剥離する状況。
タイル・モルタル	特に無し	部分的に、小さなひび割れ・浮き・白華がみられる。	広範囲に、ひび割れ・浮き・白華がみられ、部分的に脱落がみられる。	広範囲に脱落がみられる。 部分的に大きなひび割れと白華がみられる漏水している。
金属系パネル	特に無し	全体的に色褪せており、部分的なさびがみられる。	塗装のはがれ・さびが広範囲にみられる。 腐食や　ぐらつき・漏水が部分的にみられる。	広範囲にさび・ぐらつき・腐食がみられる。 漏水が部分的にみられる。
セメント系パネル・ サイディング	特に無し	全体的に色褪せており、部分的なひび割れがみられる。	広範囲に色褪せ・水垢等による汚れ・ひび割れや取付金物の錆び汁がみられる。 取合いシーリングが完全に劣化している。	パネルの爆裂・欠落がみられる。
木板塗装仕上げ	特に無し	木部保護塗装の色褪せや、木部の表面に白銀色がみられる。	広範囲に塗装の剥離や木材の変形がみられ、部分的に腐食がみられる。 緊結金物に錆が多くみられる。	広範囲に塗装の剥離・木材の変形・腐食・脱落がみられる。 緊結金物に腐食が多くみられる。
コンクリート躯体	特に無し	小さなひび割れや亀甲ひび割れがみられる。 白華や錆び汁が部分的にみられる。	部分的に露筋や欠損がみられる。 幅4mm以上のクラックが広範囲にみられる。	広範囲に露筋・躯体の欠損がみられる。 幅8mm以上の大きなクラックが広範囲にみられる。 漏水が部分的にみられる。
鉄骨躯体	特に無し	全体的に鋼材の防食被覆の変色、ひび割れ、剥がれが生じている状態。 部分的に錆がみられる。	広範囲の表面的な錆がみられる。 部分的に、構造上問題とならない箇所の腐食がみられる。	柱、梁等構造的に問題となる箇所に局部的又は全体的に腐食がみられる。
シーリング	特に無し	部分的に切れ・ひびがみられる。	広範囲に切れ・硬化・ひびがみられる。	広範囲に切れ・硬化・ひびの他に欠損している箇所がある。 漏水が部分的にみられる。
樋・手摺・ 面格子等金属部材	特に無し	取付部分にぐらつきがみられる。 金属部材とその緊結金物に錆が部分的にみられる。	金属部材とその緊結金物に錆が多くみられる。 縦樋の塗装が完全に劣化している。	金属部材とその緊結金物に錆・腐食が多くみられ、欠落の恐れがある。 縦樋が破損している。
鋼製建具	特に無し	塗装の色褪せや、部分的に変形がみられる。 ガラスの破損や鉄線のさびがみられる。	全体的に塗装の劣化・さび・変形・変質がみられる。 金物に破損がみられる(施錠・取っ手・戸車・ドアチェック等の破損)。	全体的に腐食・変形・破損しており、開閉不可の状況である。

表　内部･設備･屋外付帯に係る健全度の評価基準（ステップ１）

仕　様	A	B	C	D
床・壁・天井	特に無し	損傷・剥がれ・ひび割れ・汚れ・局部的にみられる。また、使用上・美観上・衛生上問題が無い状態。	変形・摩耗・損傷・剥がれ・ひび割れ・汚れが広範囲にみられ、使用上・美観上・衛生上の低下が懸念される状態。（広範囲：面積の概ね25％）	変形・摩耗・損傷・剥がれ・ひび割れ・汚れの程度が著しく、広範囲にみられ、使用上・美観上・衛生上深刻な状態。（広範囲：面積の概ね25％以上）
内部建具	特に無し	塗装や仕上げに変色・剥がれ・損傷がにみられ、ガラスや金物の破損がみられる。 指摘箇所は少なく、機能上問題が無い状態。	塗装や仕上げに変色・剥がれ・損傷が随所にみられ、ガラスや金物の破損が随所にみられる。（随所：5～10箇所程度） 機能上・美観上の低下が懸念される状態。	塗装や仕上げに変色・剥がれ・損傷の程度が著しく、多くみられる。 開閉困難の状況である。 機能上・美観上問題がある状態。
雑・金物	特に無し	仕上げに変色・剥がれ・損傷がにみられるが、箇所が少なく、使用上・機能上・美観上問題が無い状態。	仕上げに変色・剥がれ・損傷がにみられ、使用上・機能上・美観上の低下が懸念される状態。	損傷や劣化が激しく、使用禁止の状況である。 機能上・美観上深刻な状態。
キュービクル・ 引込開閉盤	特に無し	盤の仕上げや扉について、変色や部分的な剥がれ・損傷がみられる。 機能的には問題が無い状態。	盤の仕上げや扉について、変色や剥がれ・さび・損傷が多くみられる。 盤内に雨水が侵入した跡がみられる。 扉の開閉が困難である。 法定点検により問題を指摘されている。 更新時期を5年未満で過ぎている。	盤の仕上げや扉について、著しい腐朽、所定の固定性が損なわれており、盤内に雨水が侵入している状況である。 法定点検により深刻な問題を指摘されている。 更新時期を5年以上過ぎている。
電灯照明機器・ 非常用照明・誘導灯	特に無し	特に目立った損傷・劣化はみられないが、省エネ形以外の蛍光灯や白熱灯が多く使用されている。 非常用照明について、法定点検による不点灯の指摘が1～4箇所程度。	変形・損傷・経年劣化が数多く目立つ状態。 非常用照明について、法定点検による不点灯の指摘が5～10箇所程度。	著しい変形・損傷・腐食・経年劣化が数多く目立ち、落下の恐れがある状態。 非常用照明について、法定点検による不点灯の指摘が多く、経年劣化が目立つ。
放送設備・弱電設備・ 自動火災報知機	特に無し	法定点検による指摘が1～4箇所程度。	変形・損傷・経年劣化が多く、機能上不備がある状態。 法定点検による指摘が5～10箇所。 更新時期を5年未満で過ぎている。	著しい変形・損傷・腐食・経年劣化が数多く目立ち、落下の恐れがある状態。 法定点検による指摘が多い。 更新時期を5年以上過ぎている。
空調設備機器	特に無し	損傷や錆が部分的にあるが、機能上・構造上問題が無い状態。	変形・損傷・経年劣化・腐食が多く、所定の固定性や機能の低下が懸念される状態。 更新時期を5年未満で過ぎている。	機器の不良や作動しない状態。 著しい変形・損傷・腐食・経年劣化が多く、所定の固定性が損なわれている状態。 更新時期を5年以上過ぎている。
給排水・給湯設備(水栓・湯沸機・受水槽・ポンプ等)	特に無し	損傷や錆が部分的にあるが、機能上・構造上問題が無い状態。	損傷・経年劣化・腐食が多く、所定の固定性や機能の低下が懸念される状態。 水栓器具にぐらつきや水漏れがみられる。 更新時期を5年未満で過ぎている。	機器の不良や作動しない状態。 著しい変形・損傷・腐食・経年劣化が多く、所定の固定性が損なわれている状態。 更新時期を5年以上過ぎている。
衛生設備機器	特に無し	損傷が部分的にあるが、機能上・構造上問題が無い状態。 交通バリアフリー法対象施設としての所定の対応がなされていない。	水漏れがみられる。 損傷・劣化・腐食が生じて、所定の固定性に低下が懸念される状態。	著しい変形や損傷や腐食や経年劣化により、不良・作動しない状態。 使用禁止の箇所がある。
屋外付帯	特に無し	損傷や錆が部分的にあるが、機能や構造的な安全性には問題が無い状態。	利用し続けるためには部分的な補修、もしくは更新が必要な状態。	重大な事故につながる恐れがあり、緊急な修繕、更新が必要とされるもの。 全体的に顕著な劣化である。

参考２

学校施設管理区分

図　学校施設位置図（朝日小学校）　施設の番号は、15 ページの棟番号と整合

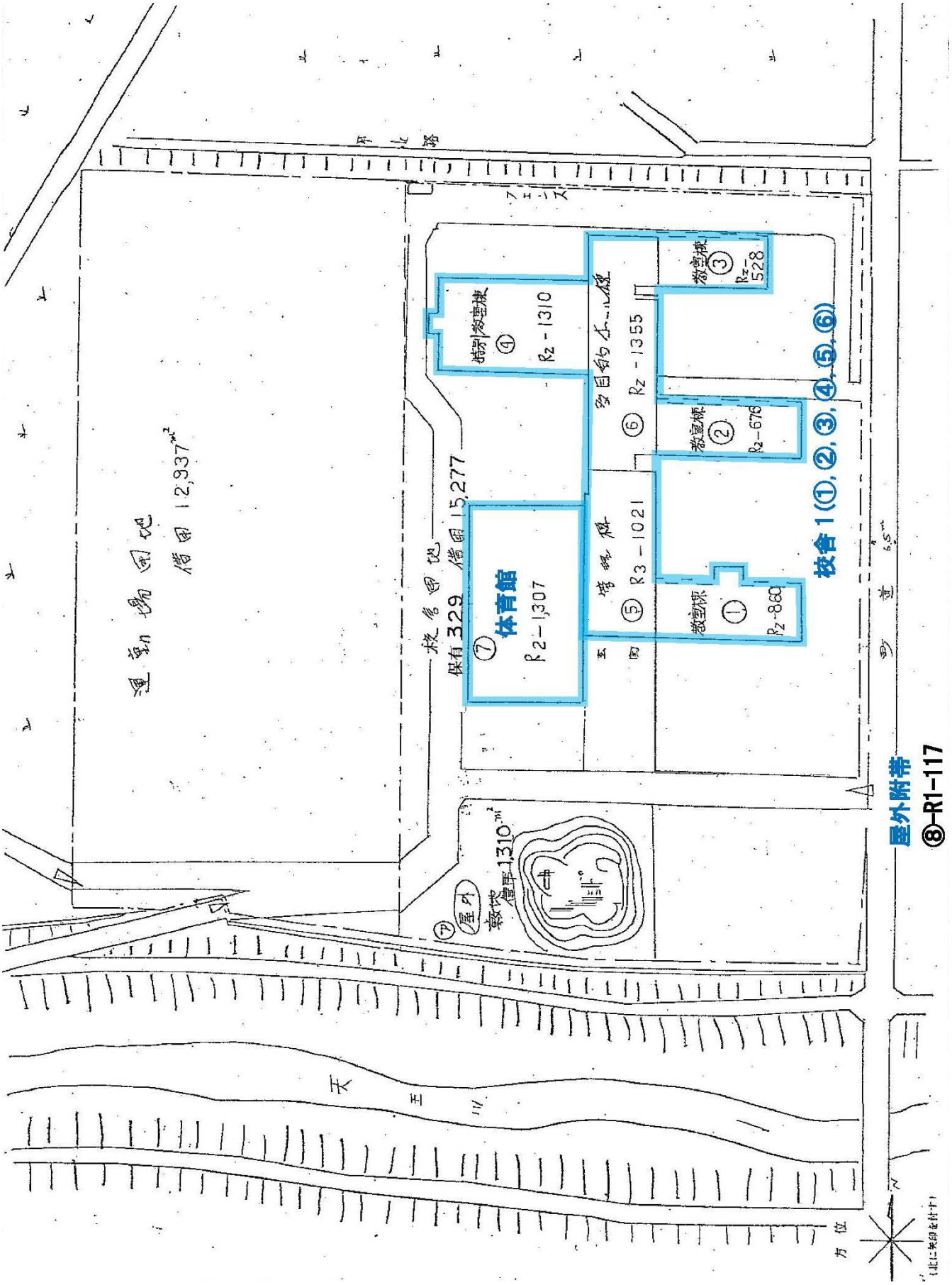


図　学校施設位置図（常磐小学校）　施設の番号は、15 ページの棟番号と整合

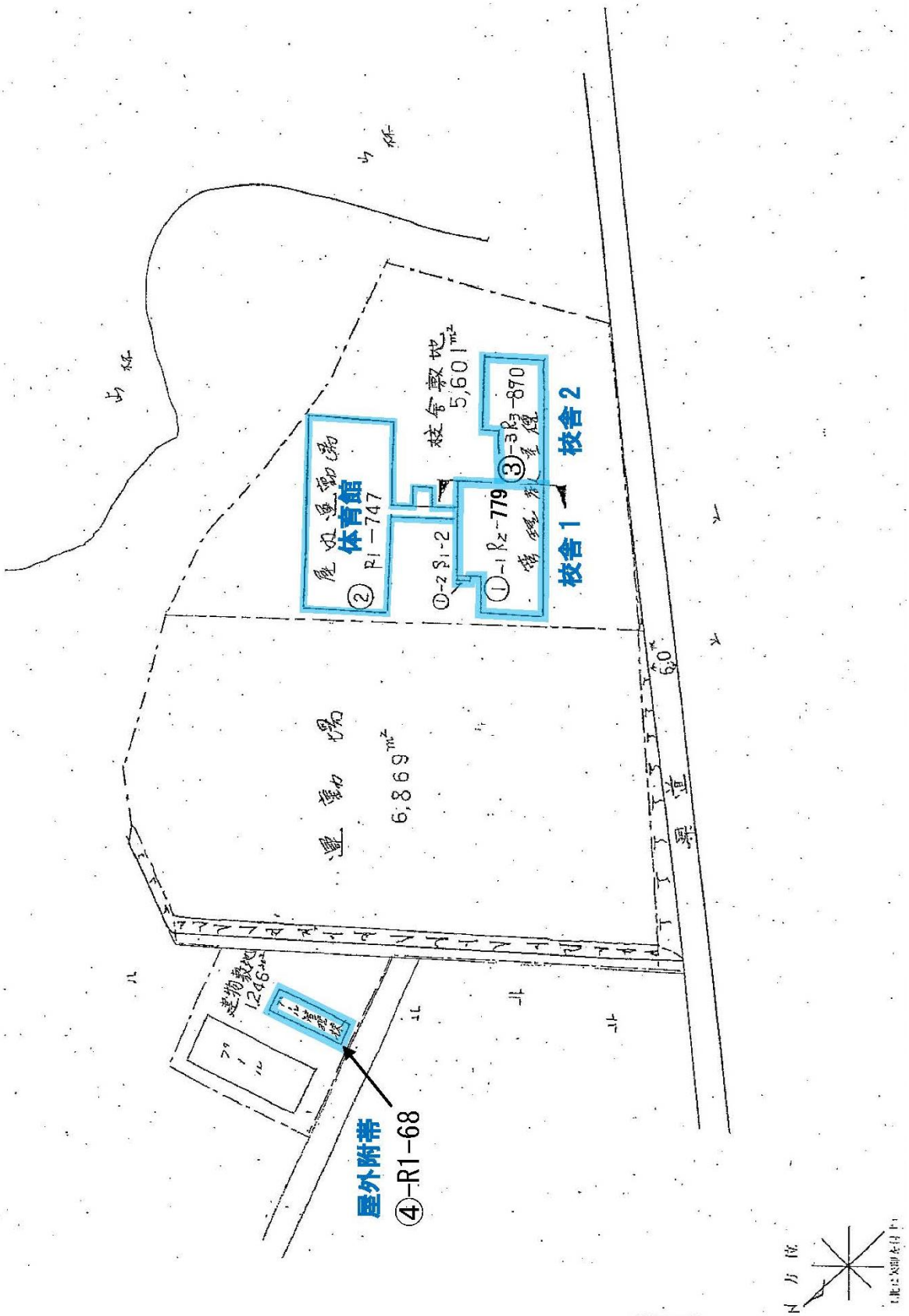


図　学校施設位置図（糸生小学校）　施設の番号は、15 ページの棟番号と整合

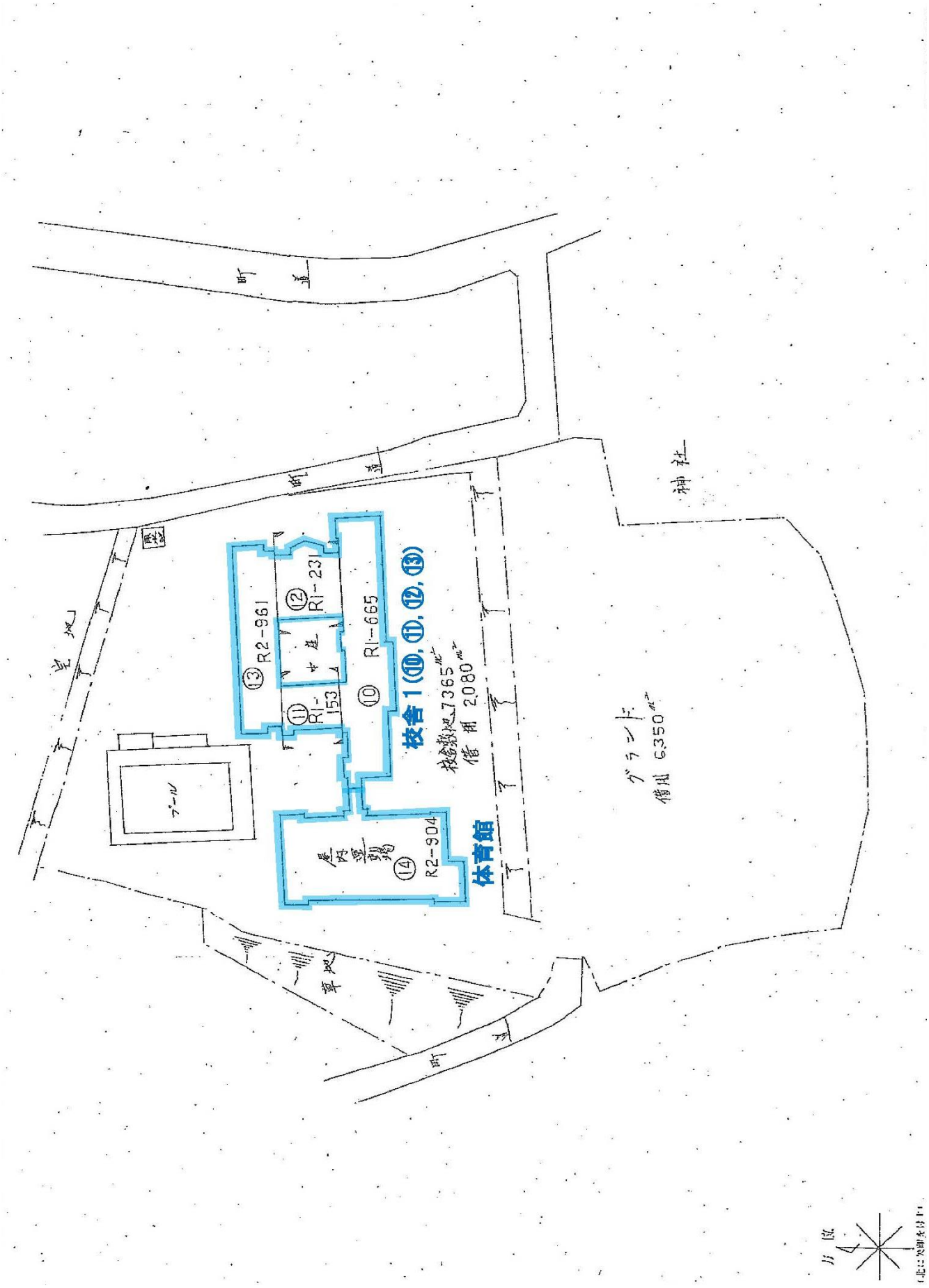


図　学校施設位置図（宮崎小学校）　施設の番号は、15 ページの棟番号と整合

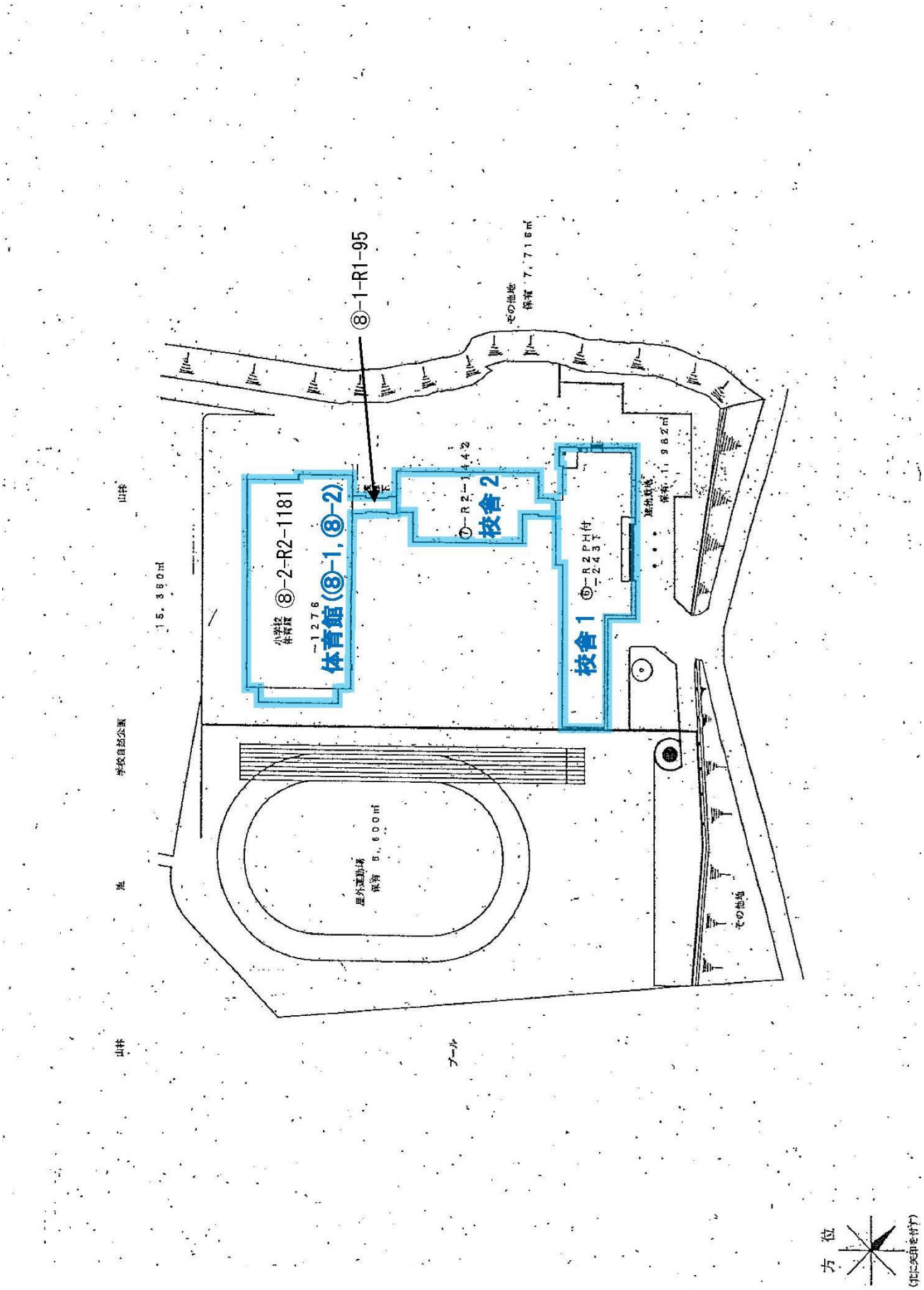


図　学校施設位置図（四ヶ浦小学校）　施設の番号は、15 ページの棟番号と整合

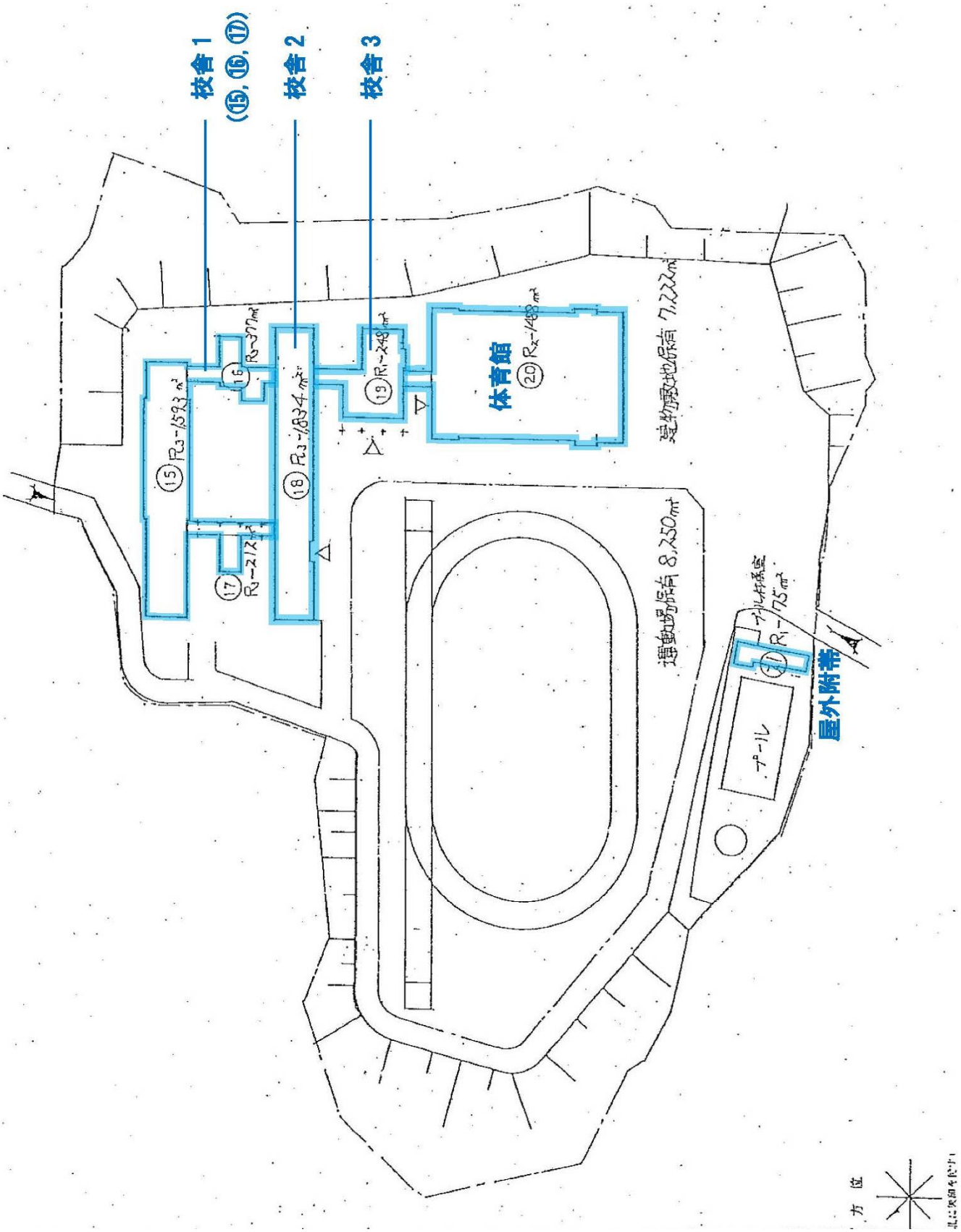


図　学校施設位置図（城崎小学校）　施設の番号は、15 ページの棟番号と整合

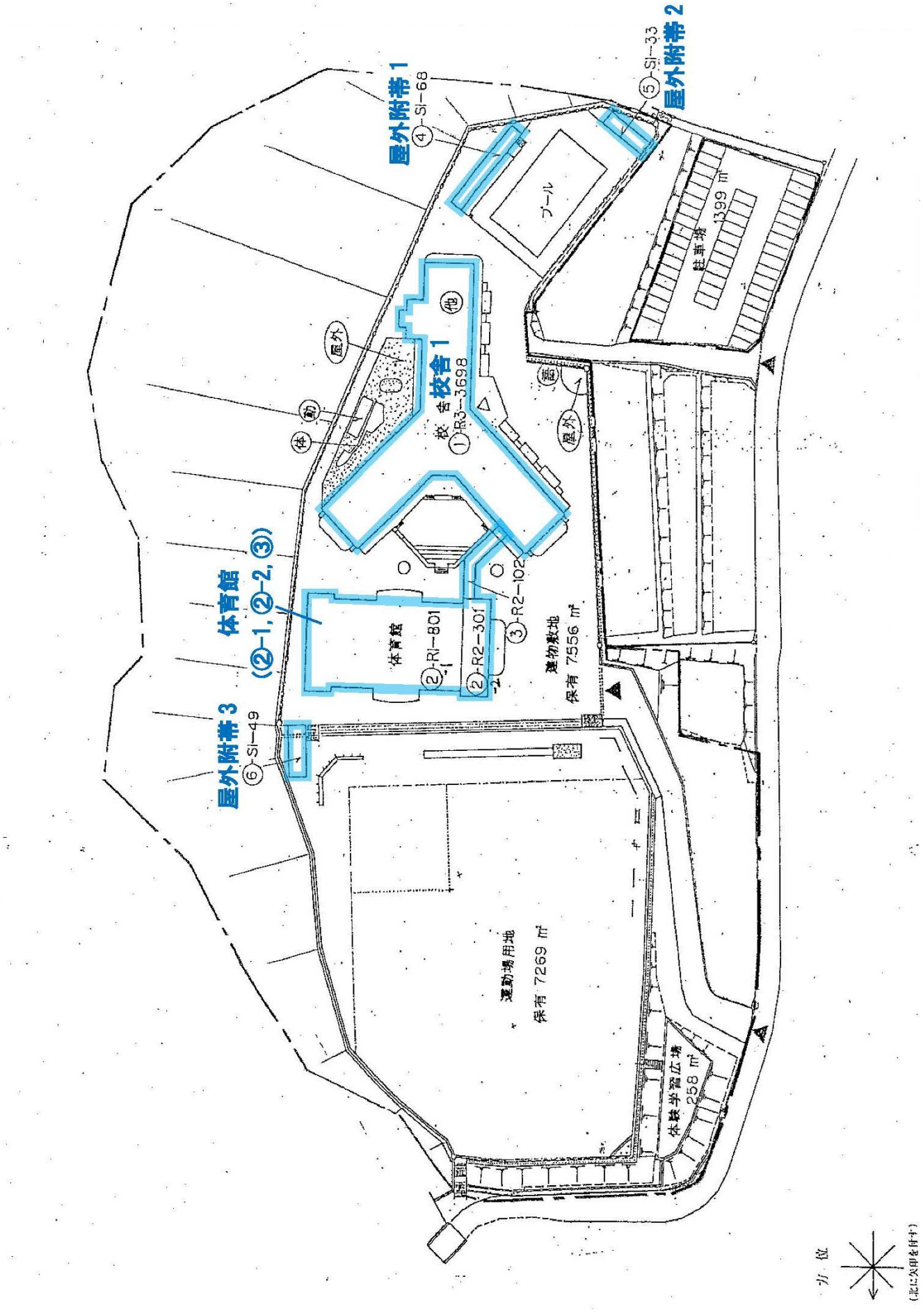


図　学校施設位置図（織田小学校）　施設の番号は、15 ページの棟番号と整合

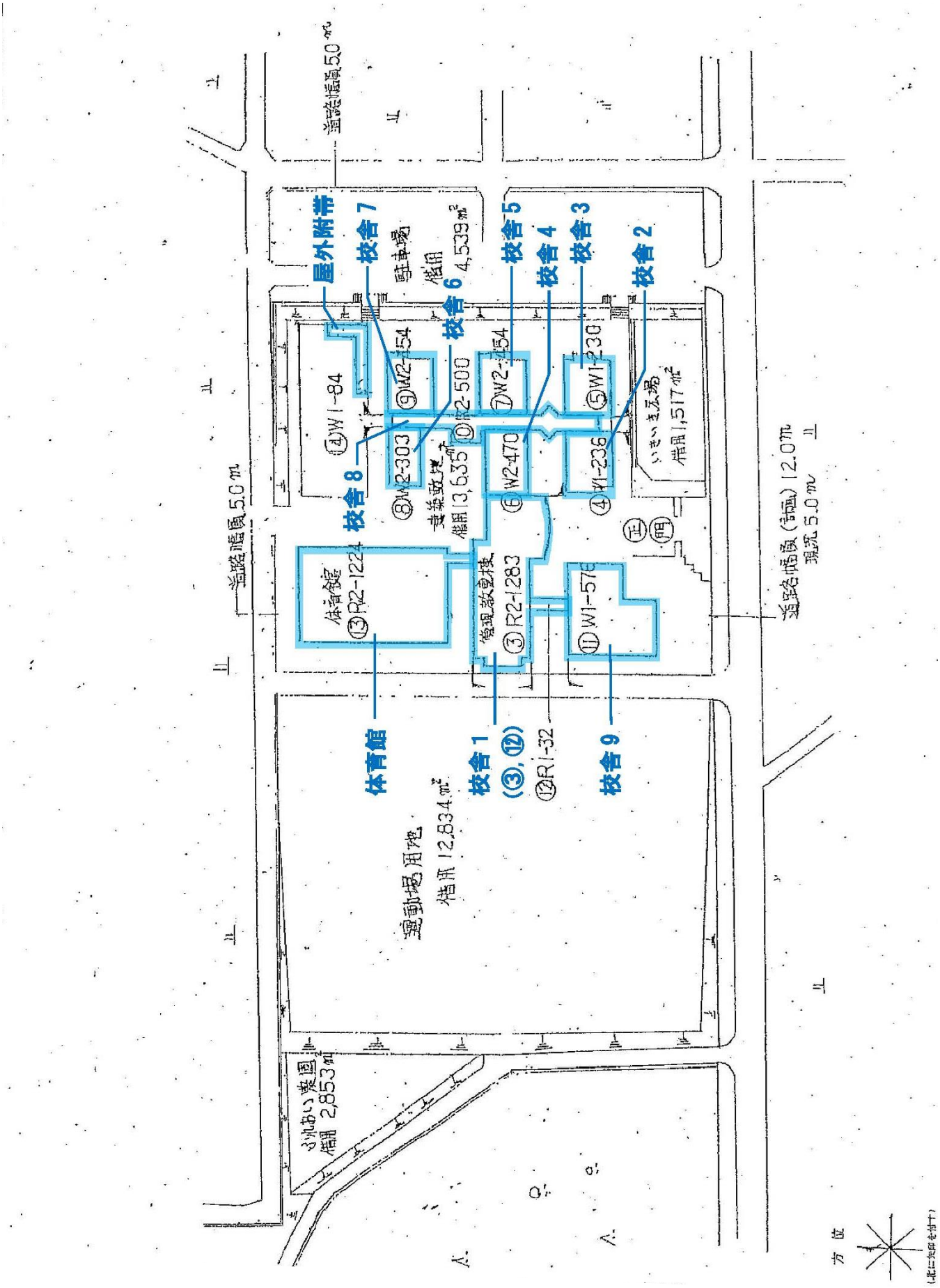


図　学校施設位置図（萩野小学校）　施設の番号は、15 ページの棟番号と整合

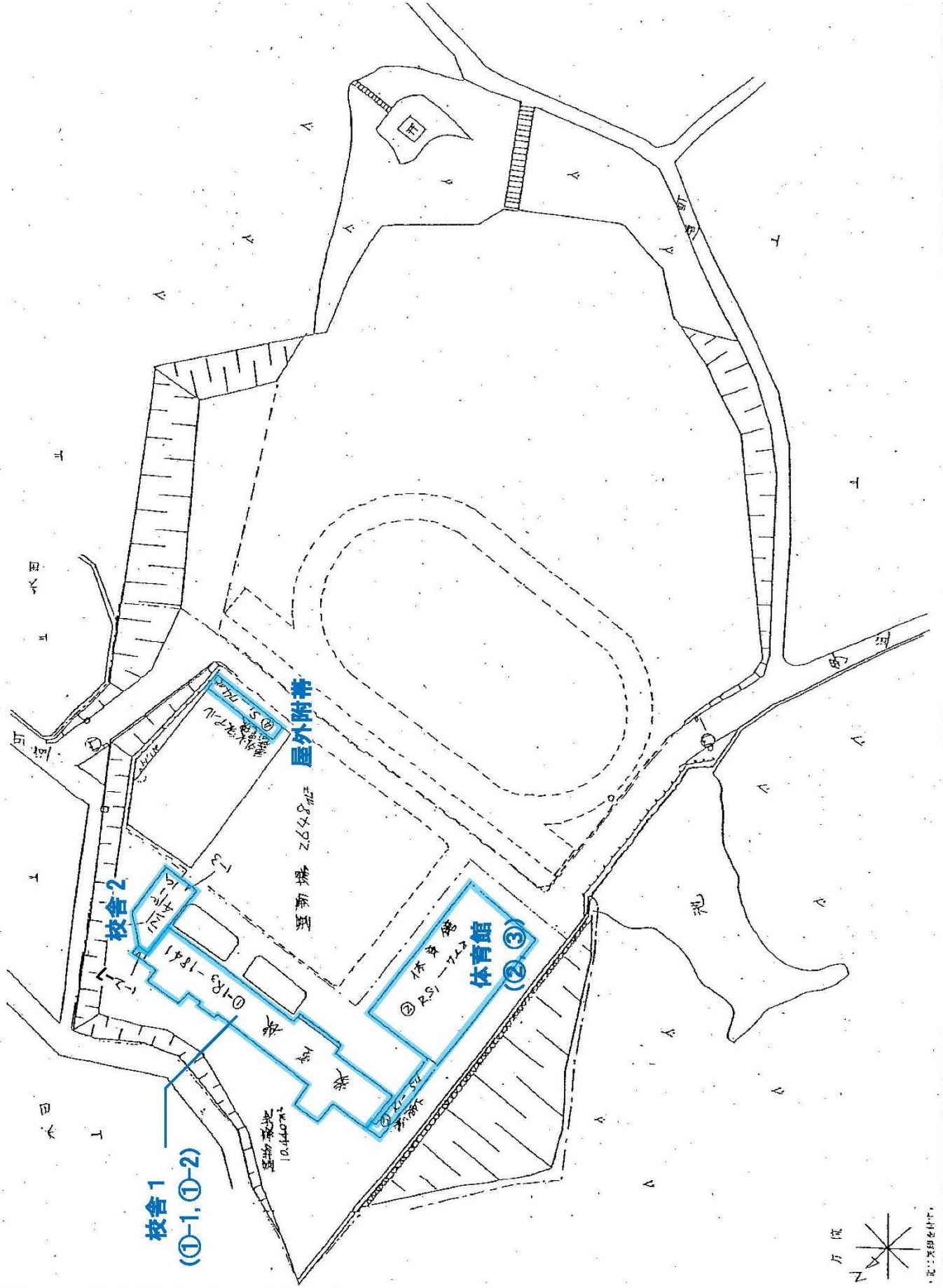


図　学校施設位置図（朝日中学校）　施設の番号は、15 ページの棟番号と整合

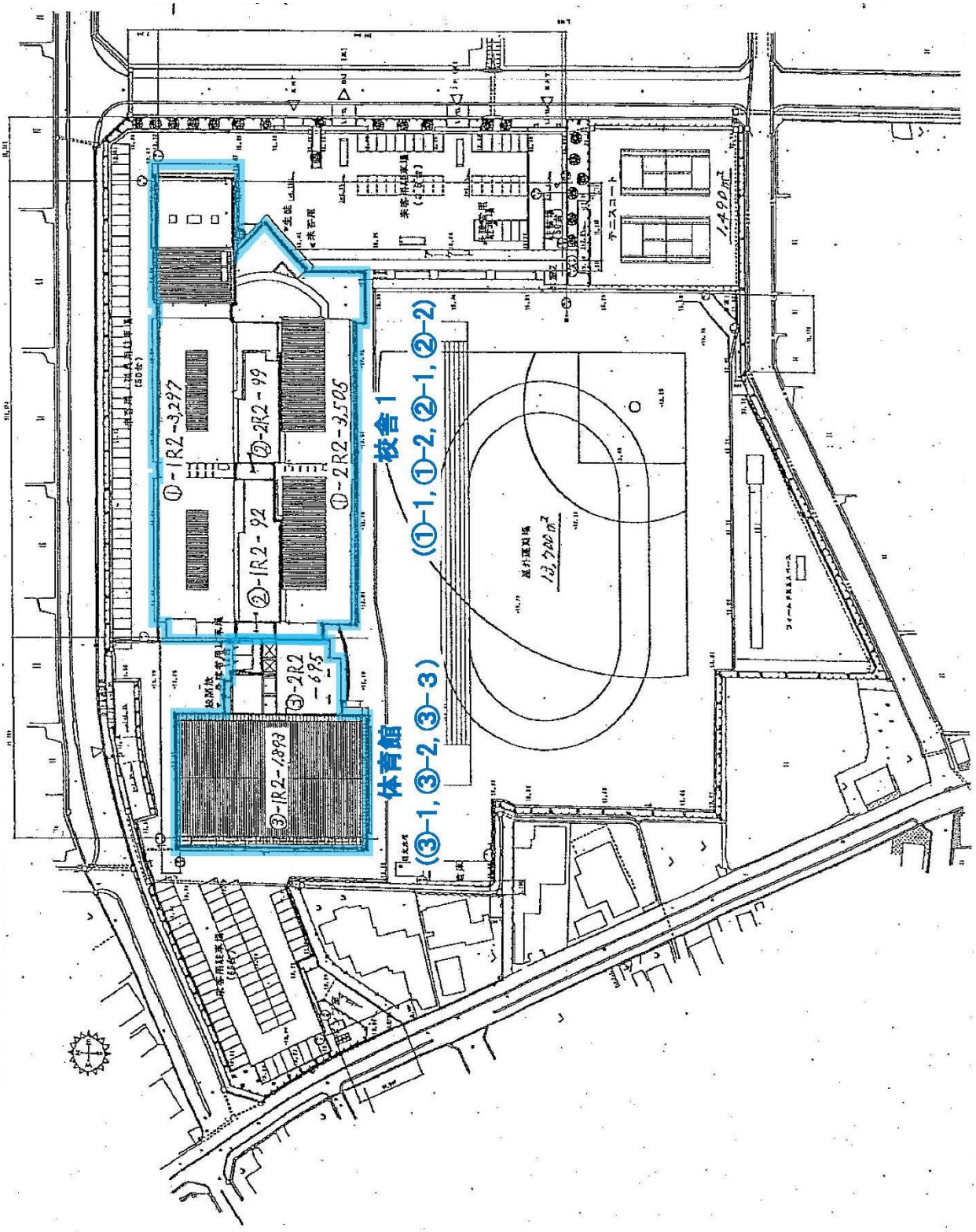


図　学校施設位置図（陽光館）　施設の番号は、15 ページの棟番号と整合

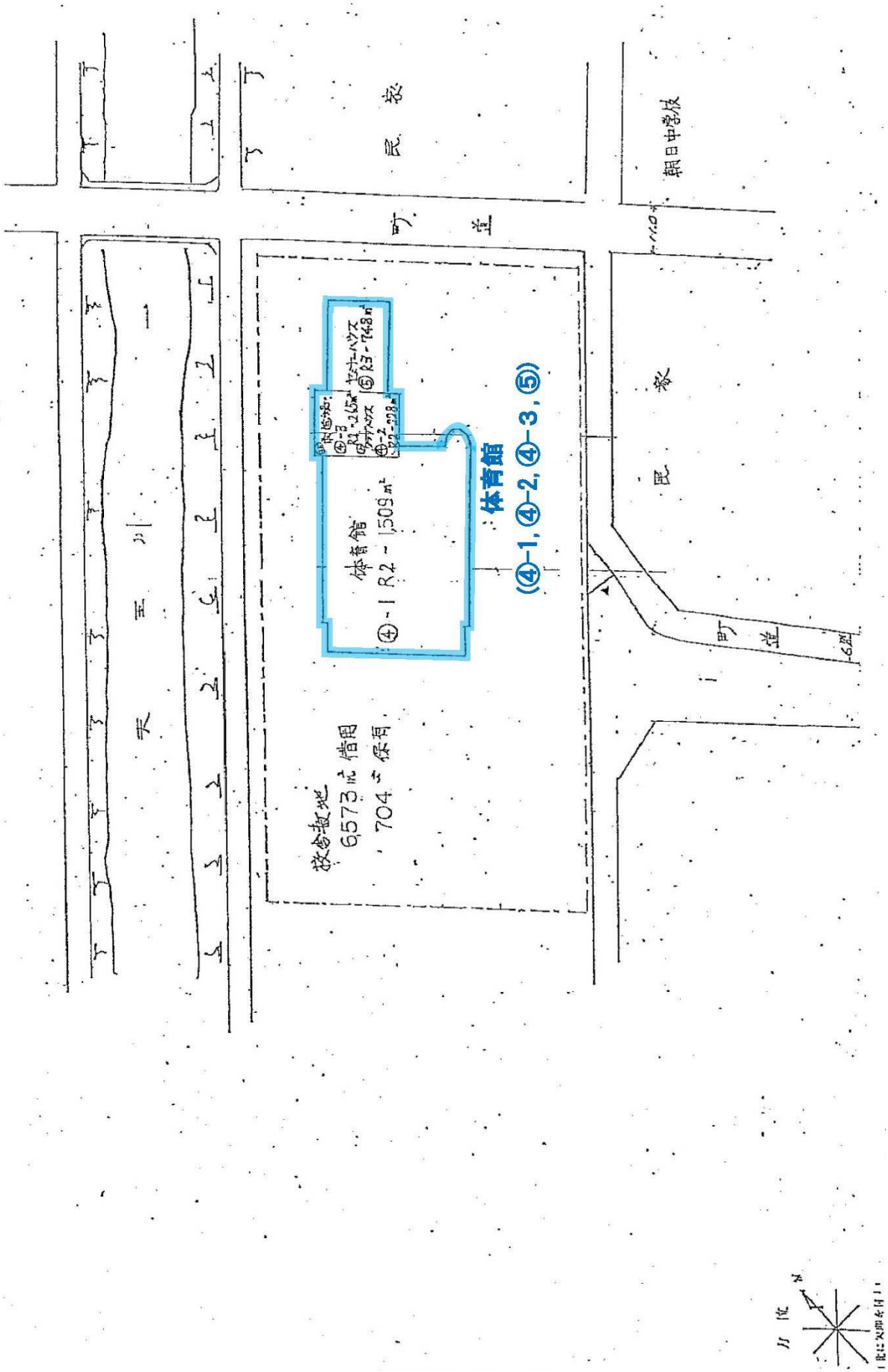


図　学校施設位置図（宮崎中学校）　施設の番号は、15 ページの棟番号と整合

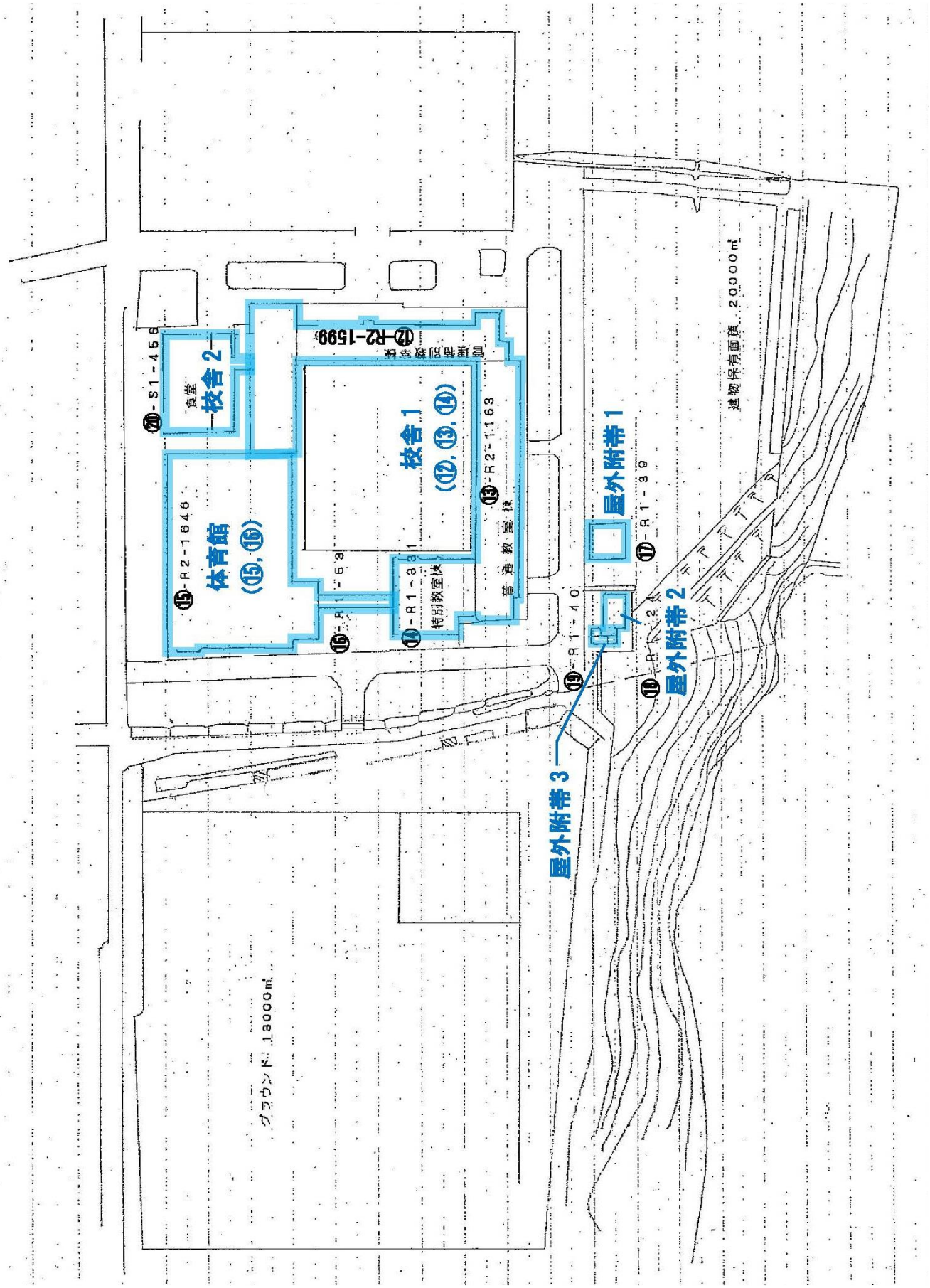


図　学校施設位置図（越前中学校）　施設の番号は、15 ページの棟番号と整合

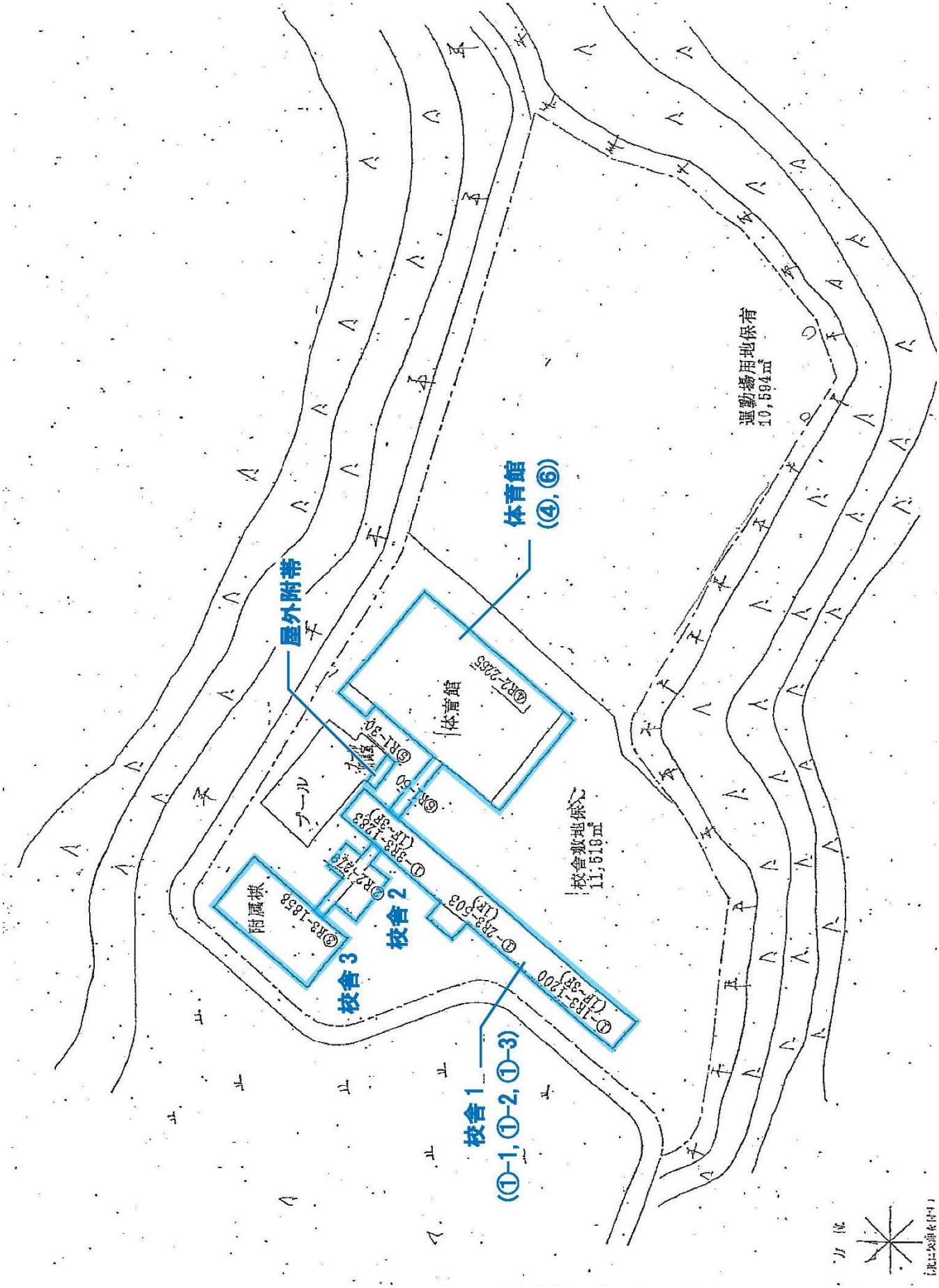
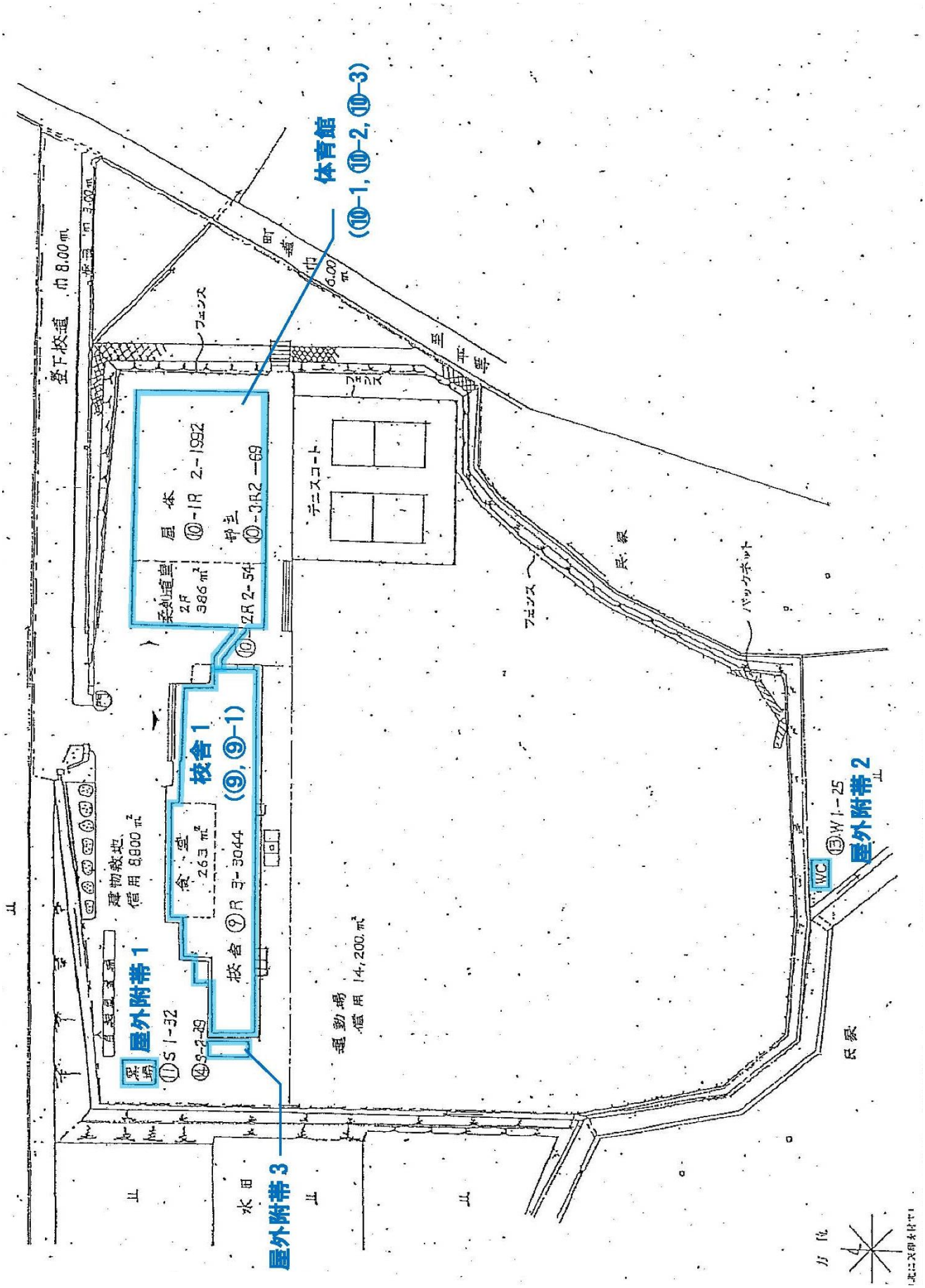



図　学校施設位置図（織田中学校）　施設の番号は、15 ページの棟番号と整合